

9 社会教育関係施設の概要

(1) 中央学習センター



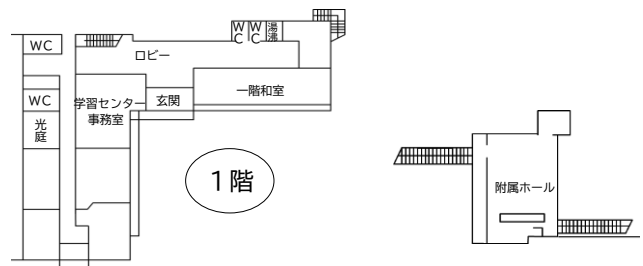
所在地	〒 960-8018 福島市松木町1-7 TEL 534-6631 535-1111 内線5510 FAX 533-7597		
交通機関	福島交通バス「豊田町」または「新浜公園」徒歩5分		
設置年月日	昭和23年11月23日	建設年月日	昭和34年2月28日 昭和43年3月30日増築
面積と構造	(建物) 2,009.74㎡ (敷地) 7,943.85㎡ (構造) RC3F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)11,643人 (女)13,111人 (計)24,754人	世帯数 13,317世帯	
地区面積	7.99km ²	学 校 数	(小) 7 (中) 6 (高) 6 (養) 1 (短) 1
職 員 数	館長 1 名 職員 6 名 生涯学習指導員 3 名 技能職員 1 名 その他 1 名 計 12 名		
委 員 指導員数	運営審議委員 12 名 青少年指導員 1 名 女性教育指導員 1 名		

<地域の概要>

県都福島市の中心部に位置し、JR福島駅から東へ約2km、同一敷地内に図書館があり複合的教育文化活動の中心地です。

対象区域住民の生涯学習活動の場であるとともに、中央学習センターとして地区学習センターと連携を図りながら全市民を対象とする全市的社会教育事業と市民性の高揚に努めています。

平面図

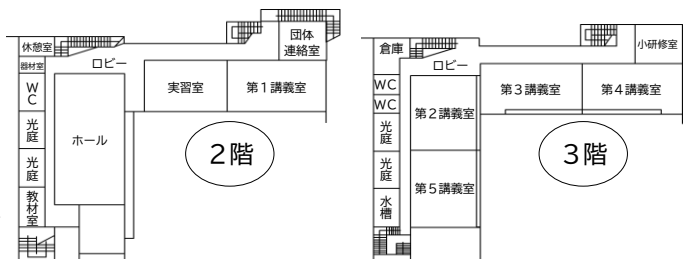


<地域、施設の案内紹介>

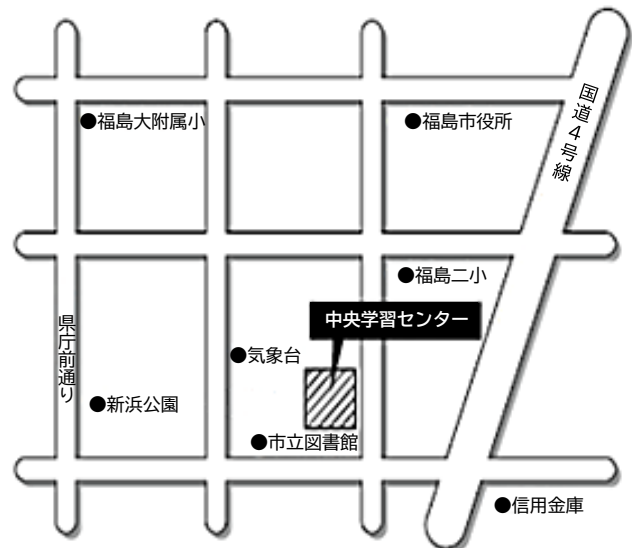
○名所・旧跡 信夫山、岩谷観音(鷹崖仏)

○学習センター施設概要

1階	和 室	140.0 m ²	収容人数	80 人
2階	ホ ー ル	155.1 m ²	収容人数	80 人
	第1講義室	84.0 m ²	収容人数	40 人
	和 室	33.0 m ²	収容人数	20 人
	実 習 室	70.0 m ²	収容人数	30 人
3階	第2講義室	88.0 m ²	収容人数	40 人
	第3講義室	84.0 m ²	収容人数	40 人
	第4講義室	84.0 m ²	収容人数	40 人
	第5講義室	88.0 m ²	収容人数	40 人
附属ホール		140.2 m ²	収容人数	30 人
駐車可能台数		26 台		



案内図



<運営方針>

本市学習センターの中核館として、全市的視野に立ち、各学習センターや町会、学校、PTAなど、関係機関・団体との連携を図りながら、ふれあいと生きがいに満ちた魅力ある生涯学習環境の創出を目指し、効果的で特色ある、ライフステージに応じた社会教育事業を推進する。

- (1) 市民一人一人が自分に合った学習を持続的にを行い、学びを深め、日常生活の楽しみや心豊かさにつながるような事業の展開に努める。
- (2) 子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた学びを推進する事業の展開に努める。

- (3) ICTの進展に伴う社会生活の進展や、多文化共生等、社会情勢の変化に対応した学習を取り入れ、現代社会の諸課題に対応する事業の展開に努める。

- (4) 学ぶにあたり配慮が必要な人に対して、学習の機会を確保する事業の展開に努める。

- (5) 地域の歴史や魅力、地域の課題の解決等の学びを通じて、地域づくりへの関心を高め、市民の主体的な参加による持続可能な地域づくりの人材を育てる事業の展開に努める。

- (6) 市民や地域の多様な機関・団体の参画により、地域と学校の共創を推進する事業の展開に努める。

<特色ある事業>

こども茶道教室、中央家庭教育学級（0・1歳児コース）、市民大学講座、しゃくなげ青年講座、ふくしまマスターズ大学

<主な事業>

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	中央こどもクラブ	小学3～6年生	6月～3月	10	・異なる学校や学年との交流・体験活動
	親子の広場	小学1～3年生と保護者	7月	2	・体験活動を通し親子のふれあいの場の提供
	親子書き初め教室	小学生と保護者	12月	6	・親子で書き初めの課題に挑戦する
	こどもスキー教室	小学3～6年生	1月	2	・スキー技術の習得
	こども茶道教室	小学1～6年生	10月～12月	5	・茶道体験・日本文化やしきたりについての学習
成人教育	ヤングカレッジ中央	18～35歳程度の男女	6月～2月	36	・青年期における教養、スポーツなどの学習をとおした仲間づくり
	中央女性アカデミー月曜日コース 〃 金曜日コース	30～70歳代の女性	4月～11月	15	・女性として豊かな創造力や実践力を養い、充実した家庭生活や社会生活を送るための学習
		〃	〃	15	
		成人女性	5月～2月	4	・地域婦人の仲間づくりと教養についての学習、町会活動
	市民学校（5コース） ICT活用セミナー 市民大学講座 しゃくなげ青年講座 ふるさと学びカレッジ事業 ふくしまマスターズ大学 市民学習プラン支援事業 学習センターデビュー講座	一般市民	4月～3月	16	・実生活に即した各種分野の学習
		〃	7月～12月	8	・ICT技能の習得
		〃	9月～12月	3	・高度で専門的な知識・技術や現代的課題についての学習
		特別支援学校・学級の卒業生	5月～3月	11	・知的障がい者を対象としたレク活動、社会体験と仲間づくり
		団塊の世代等	7月～11月	3	・団塊の世代を中心とした学習
		一般市民	8月～11月	3	・各界で活躍する高名な方を講師として招いての講演会
		〃	4月～3月	5	・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
		〃	5月～6月	4	・シニア世帯を対象とし、学習センターに興味を持ってもらう
高齢者教育	中央寿大学	60歳以上の男女	4月～3月	15	・高齢者の健康、生きがいや社会参加についての学習
	ふくしまマスターズ大学連絡会	マスターズ同期生会	4月～3月	6	・同期会等で相互の親睦や連絡調整を図る
家庭教育	中央家庭教育学級				
	- 0歳児コース(前期・後期)	0歳児と保護者	6月～1月	16	・新しい家庭を築き望ましい親となるための学習
	- 1歳児コース(前期・後期)	1歳児と保護者	6月～2月	16	・〃
	- 2・3歳児コース	2・3歳児と保護者	6月～10月	10	・親子での遊びをとおした育児についての学習
	- 義務教育コース	小中学生の保護者	6月～12月	10	・遊び、家庭、学校生活のあり方を理解、親としての役割の学習
	学社連携事業（認定こども園出前講座） 家庭教育相談事業	4・5歳園児 幼小中の保護者	9月～11月 4月～3月	2 随時	・民話などを聞き子どもの感性を豊かにする ・家庭生活や教育上の諸問題についての個別相談
芸術文化	中央地区文化祭	一般市民	10月	1	・学習センター利用団体、学級講座および地区住民の作品展示
	中央地区文化祭芸能発表会	〃	11月	1	・学習センター利用団体及び地区住民による学習成果発表
レク・体育	中央地区親善スポーツ大会	一般市民	9月～10月	2	・ソフトボール、家庭バレーボール大会をとおした、市民スポーツの振興
	中央地区各学区スポーツ大会	〃	4月～3月	随時	・各学区ごとのスポーツ大会と親睦交流
	中央地区囲碁大会	〃	8月	1	・中央地区在住、在勤、在学等の囲碁愛好者の交流と技術向上
運住動民	明るい選挙推進事業	一般市民	4月～3月	随時	・明るい選挙推進協議会の設立化
地域学校協働	地域学校協働本部事業				
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動	福島第一小 福島第二小 福島第三小 福島第四小 福島第二中 福島第四中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

(2) 三河台学習センター



所在地	〒 960-8055 福島市野田町七丁目1-42 TEL 533-8330 531-1636 FAX 533-8331		
交通機関	福島交通バス 上姥堂線「野田」徒歩5分 由添団地經由庭坂線「桜の聖母学院」徒歩1分		
設置年月日	昭和53年4月1日	建設年月日	令和4年10月28日
面積と構造	(建物) 1,245.89㎡ (敷地) 5,198.00㎡ (構造) RC2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)6,094人 (女)6,610人 (計)12,704人		世帯数 6,364世帯
地区面積	2.71km ²	学 校 数	(小) 1 (中) 2 (高) 1
職 員 数	館長 1 名 職員 2 名 生涯学習指導員 1 名 技能職員 1 名 その他 1 名 計 6 名		
委 員 指導員数	運営審議委員 9 名 青少年指導員 1 名 女性教育指導員 1 名		

<地域の概要>

市街地中心部を南北に貫く東北本線の西側に隣接する地域で、県都福島市の西の玄関口として大きな変貌を遂げている。

三河台地域は三河北町、三河南町、矢剣町、太田町、須川町、野田町、東中央（の一部）、南中央（の一部）の各地区により構成され、面積は2.71km²と狭い地域ながらも1km²あたりおよそ4,700人余りの住民が暮らす人口密度の高い地域である。

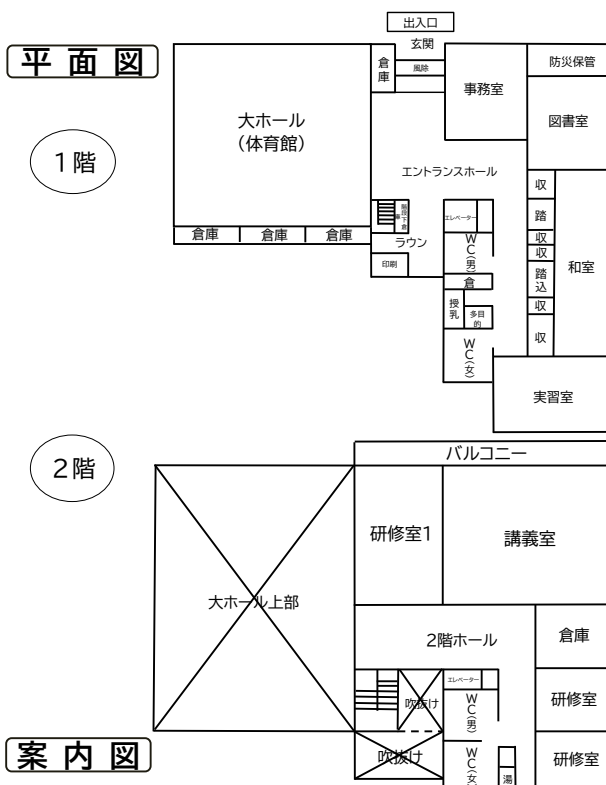
また、平成7年の福島国体の開催を契機に都市基盤の整備が進んだ地域でもあり、今後「腰浜町庭坂線」や「方木田茶屋下線」の延伸事業も計画されており、さらに市街化が進むと期待される。

<地域、施設の案内紹介>

○名所・旧跡 御用水路→福島城及び五十辺地内まで生活用水路として利用された。
杉登川 →王老杉伝説

○学習センター施設概要

1階	ホー	ル	309.0 m ²	260 人
	和	室	90.0 m ²	60 人
				40 畳
	実	習	室	59.0 m ²
			調理台	5 台
			ガス台	4 台
			IH機器	1 台
	図	書	室	49.0 m ²
			蔵書	10,000 冊
2階	講	義	室	120.0 m ²
	研	修	室 1	60.0 m ²
	研	修	室 2・3	30.0 m ²
その他	駐	車	場	60 台



<運営方針>

- (1) 生涯学習社会の進展の中で、生涯学習・社会教育の振興充実のため、多様な学習の機会と場所・情報を提供する。
- (2) 情報化、少子高齢化の社会に対応し、住民の学習ニーズを的確に把握した事業の推進に努める。
- (3) 学習の成果が地域活動やボランティア活動に結びつき、連帯と潤いのある地域づくりに役立つよう努める。
- (4) 各種団体・サークルを育成支援し、団体間の協力により、連携のとれた自主活動を推進する。
- (5) 学習センターの施設設備の効率的な活用と、読書活動の推進に努める。
- (6) 地域の文化・スポーツ活動の推進、青少年活動の推進と支援に努める。

<特色ある事業>

どじんじま道場、ファミリー教室、三河台寿大学、女性セミナー、オトナ女子セミナーplus、スマイル・ミドルエイジ講座

<主な事業>

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	どじんじま道場	小学4～6年生	5月～3月	12	・ 地域少年会のリーダー養成
	リーダーズクラブ	中学・高校・大学・専門学生	〃	22	・ 地域ボランティア活動
	少年会育成会指導者研修会	育成会員	7月	1	・ 少年会の運営、指導のための研修
成人教育	1upカレッジ	青年	5月～2月	随時	・ 一般教養、体育レクリエーション
	女性セミナー	成人女性	5月～3月	16	・ 一般教養、家庭、社会生活に関する学習
	市民学校	一般市民	年間	随時	・ 一般教養、文化、スポーツ、生活技術などの学習
	IT活用セミナー	〃	〃	〃	・ パソコンの技術習得
高齢者教育	ふるさと学びカレッジ	〃	〃	〃	・ 住民が自らの住む地域への愛着をより深める
	市民学習プラン支援事業	〃	〃	〃	・ 市民が主体となり公益性の高い事業を展開する
	三河台寿大学	一般市民	5月～3月	11	・ 健康保持、時事講話、芸術・文化などの学習
	ファミリー教室	幼児や小学生と保護者	前期 (5月～10月) 後期 (10月～3月)	14	・ 親子体操等のふれあい学習を通し親子の絆を深める ・ 子どもの心と体の健全な育成を図るための学習 ・ 家族全員（特に父親）のふれあい活動（後期）
芸術・文化	俳句大会	一般市民	3月	1	・ 他地区同好者との交流、作品の発表、鑑賞指導
	文化祭	〃	10月	1	・ 地区民、サークルの作品の展示発表と地区民の相互交流を図る
	サークル展	サークル団体	4月～3月	随時	・ サークル活動の作品展示と地区民相互の交流
レク・体育	三河台地区運動会	一般市民	10月	1	・ 町会対抗戦
	新春囲碁等大会	〃	1月	1	・ 同好者による世代交流、相互親睦
住民運動	青少年健全育成の推進	一般市民	年間	随時	・ 学級、講座、サークルなどに対する啓発
	地区明選運動の啓発	〃	〃	〃	・ 地域各種団体との連携協力による啓発活動
	交通安全運動の推進	〃	〃	〃	・ 〃
	地区社会福祉協議会との連携	〃	〃	〃	・ 〃
	ボランティア活動の支援	〃	〃	〃	・ 〃
	三河台地区一斉清掃	〃	6月	1	・ クリーン運動の協力
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・ 学校支援活動 ・ 地域学校協働活動	三河台小 岳陽中	年間	随時	・ 学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・ 学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・ 対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

(3) 渡利学習センター



所在地	〒 960-8141 福島市渡利字岩崎町190 TEL 523-1551 FAX 523-1592		
交通機関	福島交通バス、花見山入口経由渡利南回り 「渡利病院前」停留所より徒歩10分		
設置年月日	昭和54年7月1日	建設年月日	令和2年11月16日
面積と構造	(建物) 1,490.91㎡ (敷地) 8,977.54㎡ (構造) RC2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)7,672人 (女)7,928人 (計)15,600人	世帯数 7,434世帯	
地区面積	32.09km ²	学 校 数	(小) 3 (中) 1 (高) 2
職 員 数	館長 1 名 職員 2 名 生涯学習指導員 1 名 技能職員 1 名 その他 1 名 計 6 名		
委 員 指導員数	運営審議委員 9 名 青少年指導員 1 名 女性教育指導員 1 名		

<地域の概要>

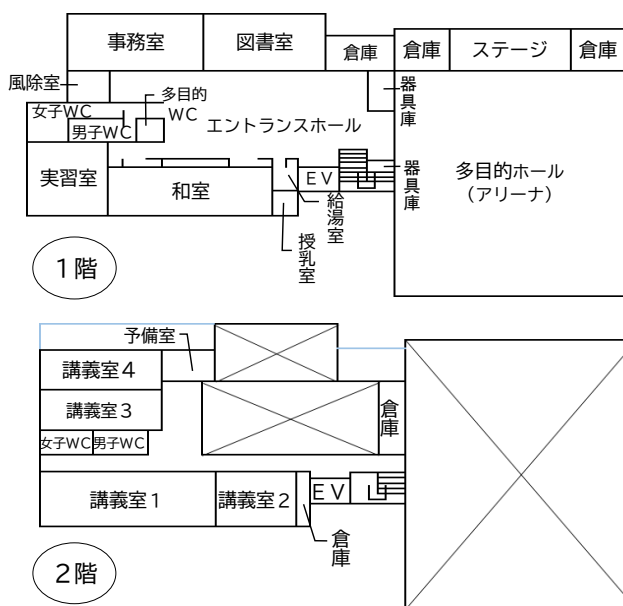
渡利地区は阿武隈川の東岸に位置し、戦前は農業地帯として栄えた。戦後は、市街地に近いという地理的条件もあり、南向台ハイタウンの造成など、住宅地としてめざましい発展を遂げている。地区の西側を4号国道、中央部を114号国道の2本の幹線が通っており、中心には、小中学校と高等学校、専門学校、医療機関等がある。

また、本地区には「花見山」、「ウォーキングトレイル」、「小鳥の森」などの観光資源や土木遺産に認定された福島の石橋群のひとつ「甚念坊山2号橋」、子ども達の身近な自然体験の場「水辺の楽校」などがあり、自然にふれあうことの出来る住宅地としてますます発展が期待されている。

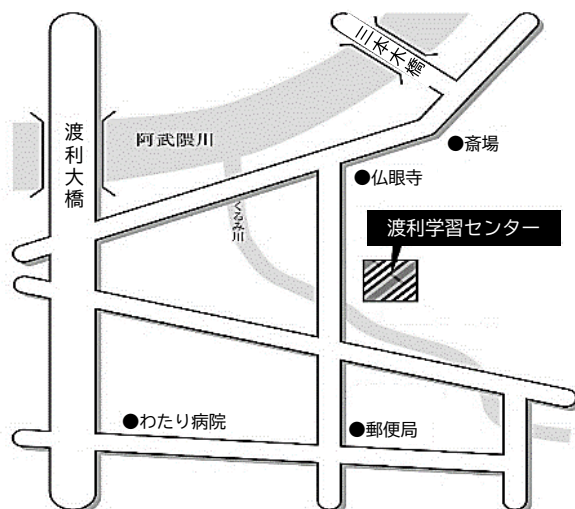
立子山地区は市の南東部に位置し、阿武隈山系にある農山村地帯である。地区の中心部には支所、小学校、多目的集会所、農村広場があり、地域住民の拠点となっている。

また、西側の阿武隈峡には鮎滝渡船場跡や蓬萊岩があり、県指定名勝地となっているほか、地区の特産物として凍み豆腐が広く知られている。

平面図



案内図



<地域、施設の案内紹介>

○学習センター施設概要

1階	和 室	75.0 ㎡	65 人
	実 習 室	57.0 ㎡	25 人
	多目的ホール	543.0 ㎡	300 人
	図 書 室	70.0 ㎡	
	蔵書		10,543 冊
2階	講義室1・2	140.0 ㎡	72 人
	講 義 室 3	40.0 ㎡	22 人
	講 義 室 4	38.0 ㎡	20 人
	(防音室)		
駐車可能台数			80 台

<運営方針>

- (1) 生涯学習活動を支援する「学びの拠点」として、地域に親しまれ利用される環境づくりに努める。
- (2) 多様化する住民ニーズに対応した学びの機会の創出に努める。
- (3) 多様な主体との連携・協創や地域人材の支援のもと、「開かれ、つながる社会教育」の充実に努める。
- (4) 各種団体・サークルの育成支援を図り、団体活動の促進と充実に努める。
- (5) 世代間交流・地域交流事業の実施・推進に努める。
- (6) 防災拠点（避難所）としての役割に努める。

<特色ある事業>

郷土の民俗 わたり青空図書館

<主な事業>

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
教少 育年	わんぱくキッズ 渡利寺子屋	小学4～6年生 小学生	5月～2月 7月・12月	10 2	・ 野外キャンプ、料理教室、宿泊研修などの体験活動 ・ 小学生を対象とした長期休業期間中の学習支援
成人 教育	若者のための交流事業	18歳～30歳代の 男女	4月～3月	12	・ 気軽に学習センター事業へ参加出来るよう青年層を対象として開催し、仲間づくりを図る
	渡利レディースセミナー	渡利地区の 成人女性	5月～3月	18	・ 一般教養や生活技術の習得、レクリエーション等幅広い学習
	たつこレディース	立子山地区の 成人女性	4月～3月	12	・ 一般教養や生活技術の習得、レクリエーション等幅広い学習
	市民学校	一般市民	4月～3月	12	・ 渡利・立子山地区の幅広い世代を対象に料理、手芸、芸術、スポーツ等の専門的内容について短期間、集中的に学習
	ふるさと学びカレッジ	〃	11月～12月	3	・ 地域の歴史について学び、健康に地域で活動していくためのきっかけづくり
高 教 育 者	市民学習プラン支援事業	〃	4月～3月	2	・ 地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
	ICT活用セミナー	一般市民	年間	4	・ 主に初心者向けのパソコン講習会を開催する
	渡利寿大学	60歳以上の男女	4月～3月	12	・ 歴史、時事、健康、安全などの講話及び施設見学、研修、懇親など
	渡利グレートアカデミー	おおむね60歳以上の 男女	〃	24	・ 一般教養、歴史、健康、ボランティア等の講座及び施設見学、研修、懇親など
	立子山寿講座	立子山の 60歳以上の男女	3月	1	・ 施設見学、健康講話など
教家 育庭	コアラ学級	2～4歳児 と保護者	5月～2月	10	・ 親子でのふれあい体操を通して、健康づくりやしつけを学ぶ
文 芸 化	コアラファミリー (家庭教育特別講座)	2歳児～小学4年生 と保護者	10月～1月	4	・ 体験活動を通じて親子のふれあいと社会性を高める
	第41回文化祭	一般市民	10月	1	・ 渡利・立子山地区の文化祭 (各種利用団体・サークル等による学習成果の発表)
体 育 ・ レ ク	郷土の民俗（年中行事）	親子	5・9・1月	3	・ 年中行事である端午の節句、お月見、だんごさしを行い、郷土の民俗を伝承する
	第32回十方劫市民ハイキング	一般市民	4月29日	1	・ 地区内最高峰へのハイキングと史跡の解説
	館長杯バドミントン大会	バドミントン 愛好者	3月	1	・ クラス別によるバドミントン大会
	南方部親善球技大会	成人	8月	1	・ 渡利・杉妻・蓬萊、3学習センター合同の親善交流会 (ソフトボール・家庭バレーボール)
住 民 運 動	グラウンドゴルフ大会	愛好者	10月	1	・ 愛好者によるグラウンドゴルフ大会
	新春囲碁大会	囲碁愛好者	1月	1	・ クラス別による囲碁大会
	明るい正しい選挙推進啓発 市民憲章の普及啓発 青少年健全育成運動の推進	一般市民 〃 〃	年間 〃 〃		・ 関係機関団体と連携をとりつつ啓発運動を推進する
地 域 学 校 協 働	地域学校協働本部事業 ・ 学校支援活動 ・ 地域学校協働活動	渡利小 南向台小 立子山小 渡利中	年間	随時	・ 学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・ 学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動 (地域課題解決学習、地域貢献活動) ・ 対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)
そ の 他	わたり青空図書館 ぶらっと談話室 体験入門講座	一般市民	年間	12 12 随時	・ 寄付された本の無料持ち帰りと無期限貸出とともに、来館者同士の交流を目的とする。 ・ 集まってきた方が自由にお話する場所 ・ 利用団体の会員拡充と活動内容の紹介

(4) 杉妻学習センター



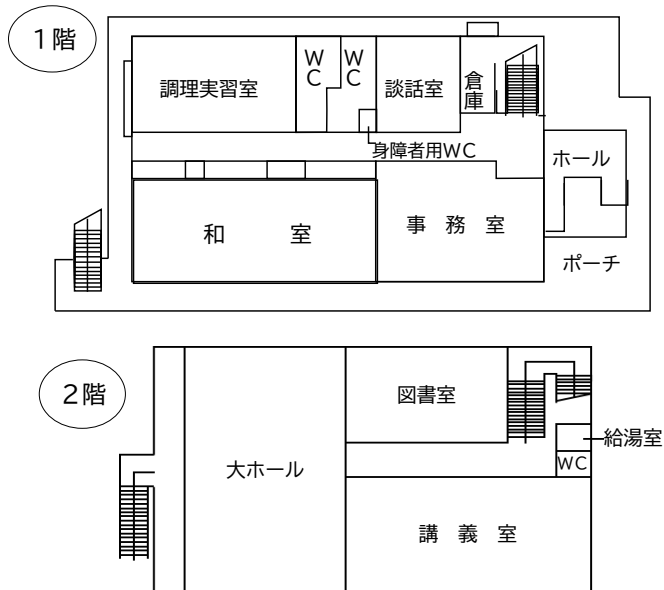
所在地	〒 960-8153 福島市黒岩字田部屋53-2 TEL 545-5717 FAX 545-5738		
交通機関	福島交通バス バイパス経由医大線「鳥谷野扇田」 徒歩5分		
設置年月日	昭和54年4月1日	建設年月日	昭和54年3月31日
面積と構造	(建物) 671.69㎡ (敷地) 1,372.88㎡ (構造) RC2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)5,733人 (女)5,849人 (計)11,582人		世帯数 5,533世帯
地区面積	5.82km ²	学 校 数	(小) 1 (中) - (高) -
職 員 数	館長 1 名 職員 2 名 生涯学習指導員 1 名 技能職員 1 名 その他 1 名 計 6 名		
委 員 指導員数	運営審議委員 9 名 青少年指導員 1 名 女性教育指導員 1 名		

<地域の概要>

杉妻地区は、中心市街地南に位置し、郷野目・鳥谷野・太平寺・黒岩・伏拝・あさひ台・弥生の7地区からなり、国道4号、国道115号・西部環状道路等幹線道路網が整備され、飲食店や大型店舗の進出、また、各種製造業の工場も誘致され、商工業の発展が著しい。

歴史的には、古墳群が多く点在しており、満願寺虚空蔵堂をはじめ寺社仏閣や伝説が数多く残されている。各町内会の活動が盛んに行われ、商工業との交わりも多く、互いに支えあう調和のとれた地域を形成している。

平面図

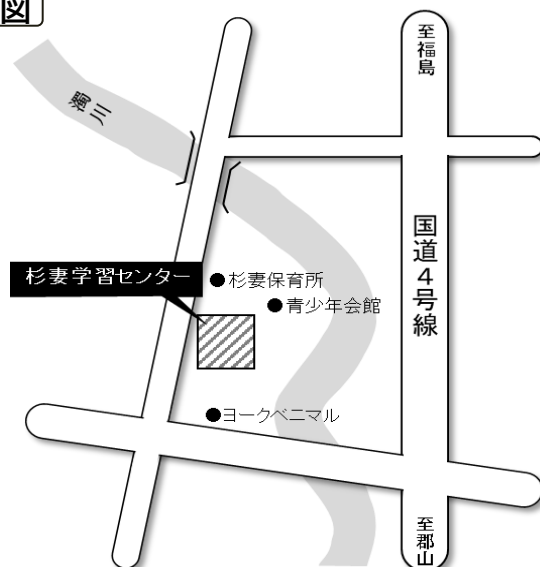


<地域、施設の案内紹介>

○学習センター施設概要

1階	和 室	91.8 m ²	60 人
	実 習 室	52.7 m ²	30 人
2階	ホ ー ル	129.0 m ²	100 人
	講 義 室	91.0 m ²	50 人
	図 書 室	50.0 m ²	
		蔵書	8,623 冊
駐車可能台数		13 台	

案内図



<運営方針>

学習センターでの学びの場をとおして、個々人が豊かなライフステージで活躍し、さらに、新しい未来の創造にむけた活動ができるように生涯学習の推進をはかる。

- (1) 生涯学習の拠点として親しまれ、「いつでも」「だれでも」が気軽に利用できる学習センターづくりを目指す。
- (2) 地域住民の「声」を大切にし、住民ニーズに柔軟に対応した学習の機会を提供するとともに、教養・文化の向上に努める。
- (3) 団体・サークルの支援に努め、関係機関等との世代を越えた連携強化により、明るい地域づくりに貢献する。
- (4) 次世代につながる新しい「地域の人材」の活用と「ボランティア意識」の醸成に努め、地域参画力を高めるよう努力する。

<特色ある事業>

わくわく子育て健康教室、“ほっと一息”コンサート、子育てカフェ、個人ごとの課題に応じたパソコンアドバイス会、いい街“すぎのめ”さんぽ道

<主な事業>

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容	
少年教育	すぎのめわんぱくクラブ	小学4～6年生	5月～2月	10	・小学4～6年生を対象に年間を通じて各種体験講座を開催する	
	夏休み小学生対象事業	小学生3～6年生	7月～8月	8	・夏休みに理科の実験教室開催や部屋を開放し子どもの居場所（勉強場所）をつくる	
	宿泊学習事業	小学5・6年生	7月	1	・夏休みを利用して子どもたちが宿泊体験活動をする	
成人教育	教青育年	青年	年間	1	・作品づくりや料理教室等を通じて青年同士の交流を図るとともに、知って得する知識や技術を学ぶ	
	教女育性	成人女性	5月～2月	13	・参加者の共通テーマのもと、実習、講義を実施し、魅力ある女性をめざす	
	各種講座等	ベターライフセミナー（ふるさと学びカレッジ）	一般市民	5月～3月	16	・一般成人向け、教養、健康、文化等、ライフワーク発見のきっかけづくりを支援する
		市民講座	〃	年間	17	・生活、文化、教養、スポーツ、趣味を中心に講座を開設する
		パソコンアドバイス講座	〃	11月・12月	4	・一般向けパソコン講習会を開催する
		いい街“すぎのめ”さんぽ道	〃	年間	3	・地元商店街と連携した講座を開設することにより、地元の活性化と理解を深める
		PC操作アドバイス会	〃	4月～3月	12	・パソコンを習いたい方を対象にパソコンを持参していただき月1回、ボランティアがアドバイスを行う
		“ほっと一息”コンサート	〃	12月	1	・師走のひとつとき、お茶を飲みながら軽音楽のLIVEを楽しむ
		市民学習プラン支援事業	〃	年間	随時	・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
高齢者教育	杉妻寿大学	60歳以上	5月～3月	11	・時事解説、健康管理、講話、館外学習、選択学習、音楽教室などの学習会を行う	
家庭教育	すこやかファミリー教室	2～4歳児と保護者	4月～3月	20	・音楽療法を中心に、家庭の教育力に寄与する学習活動を目指し、健やかな心と体を育む情操教育を行う	
	思春期家庭教育講座	中学生と保護者	11月	1	・中学校における家庭教育講座	
	おひざにだっこのおはなし会	乳幼児と保護者	4月～3月	10	・絵本の読み聞かせをする（ボランティアによる事業）	
	わくわく子育て健康教室	〃	7月・2月	2	・4ヶ月からひとり歩き前までの赤ちゃんとお母さんを対象に体操やおはなし会等で交流を図る	
	パパのわくわく子育て健康教室	〃	9月～10月	1	・4ヶ月からひとり歩き前までの赤ちゃんとお父さんを対象に体操やおはなし会等で交流を図る	
	子育てカフェ	〃	4月～3月	12	・お母さん同士で自由におはなしができるスペースを開放する	
芸術・文化	杉妻地区文化祭	一般市民	10月	1	・団体、グループ、一般住民の創作活動の発表、展示、鑑賞交流	
	杉妻地区芸能祭	〃	4月	1	・杉妻芸能協会主催、民謡、舞踊等の発表交流	
	すぎのめ短歌大会	〃	2月	1	・短歌愛好者の作品発表交流	
	すぎのめ俳句大会	〃	〃	1	・俳句愛好者の作品発表交流	
レク・体育・	スキー・スノーボード教室	小・中学生	2月	2	・スキー・スノーボードの基礎技術の習得	
	新春囲碁・将棋大会	一般市民	1月	2	・囲碁、将棋の地区内愛好者の交流と親善対局	
	福島市南方部親善球技大会（ソフトボール・家庭バレーボール）	成人	8月	1	・渡利、杉妻、蓬萊、三学習センター合同親善交流試合	
	各種スポーツ大会	一般市民	年間	2	・地区体協や利用団体連絡会と共催する地区運動会やスポーツ大会	
運住動民	明るい選挙啓発運動	一般市民	年間	随時	・明るく正しい選挙の啓発運動を推進する	
	青少年健全育成運動	〃	〃	〃	・地区推進協会員と共に地区住民が一丸となって青少年の健全育成事業を推進する	
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	清明小 杉妻小 福島第一中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）	

(5)-I 蓬萊学習センター



所在地	〒 960-8157 福島市蓬萊町四丁目1番2号 TEL 549-1821 FAX 549-1875		
交通機関	福島交通バス、バイパス経由医大線「蓬萊小学校」 徒歩1分		
設置年月日	平成5年10月1日	建設年月日	平成5年9月30日
面積と構造	(建物) 1,720.02㎡ (敷地) 3,771.00㎡ (構造) RC1F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)4,613人 (女)5,155人 (計)9,768人		世帯数 4,673世帯
地区面積	8.94km ²	学校数	(小)2 (中)1 (高) -
職員数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 図書職員 3名 その他 2名 計 10名		
委員 指導員数	運営審議委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

<地域の概要>

福島市の南方部に位置し、市の中心部から4号国道を7km程南へ進んだところに拓かれた街、蓬萊ニュータウンと歴史のある清水町、田沢地区との包摂された地域である。

地域の中央には、市役所支所、郵便局、銀行等の公共施設があり、恵まれた快適な住宅環境にある。また、野球場、テニスコート等のスポーツ施設公園や豊かな緑に包まれた周辺一帯は住民のいこいの場となっている。

近隣には福島大学、県立医科大学、同附属病院等があり、民間の宅地開発も進み、着実に発展をみせている。

<地域、施設の案内紹介>

- 名所 県指定名勝および天然記念物
阿武隈峡(蓬萊岩)
- 旧跡 根子町宿場
- 施設 清沢体育館
(運動場、アーチェリー50m)
蓬萊中央公園
(野球場、自由広場、多目的運動広場)

案内図



○学習センター施設概要

- 多目的ホール 468㎡
 - ・ バレーボール 1面
 - ・ ミニバスケット 1面
 - ・ バドミントン 2面
 - ・ 卓球台 8台
 - ・ 更衣室
 - ・ ステージ
 - ・ 放送設備
 - ・ 暗幕設備
 - ・ ピアノ 1台
 - ・ イス 400脚

- 図書室 489㎡ 蔵書 45,201冊
 - ・ こどものへや
 - ・ くつろぎコーナー
 - ・ 読書コーナー
 - ・ AV〔ビデオ・LD・CD〕コーナー

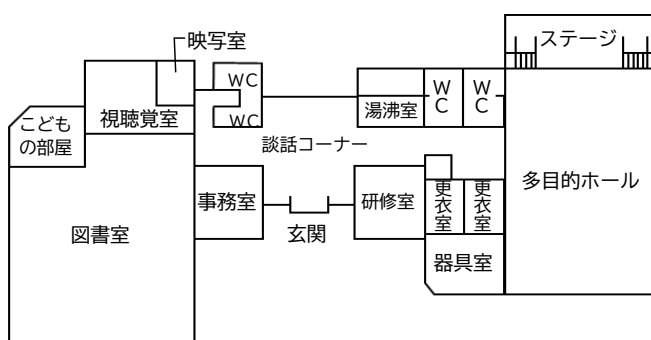
- 視聴覚室 68㎡ 収容人数 30人
 - ・ 液晶プロジェクター VTR 0HC16mm映写設備

- 研修室 66㎡ 収容人数 30人

談話コーナー

駐車可能台数 25台

平面図



(5)-Ⅱ 蓬萊学習センター分館



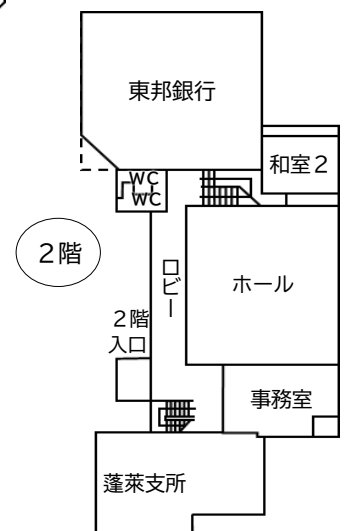
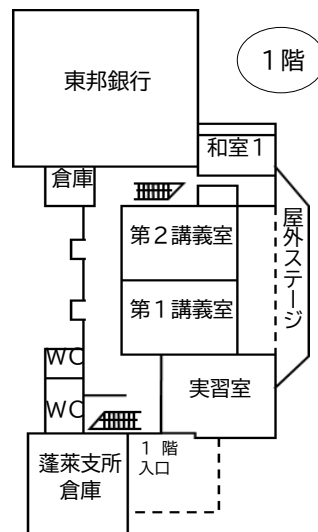
所在地	〒 960-8157 福島市蓬萊町四丁目1-1 TEL 549-1636 FAX 549-1641		
交通機関	福島交通バス バイパス経由医大線「蓬萊小学校」徒歩1分		
設置年月日	昭和50年10月1日	建設年月日	昭和50年10月1日
面積と構造	(建物) 1,170.62㎡ (敷地) 513.61㎡ (構造) RC3F		
職員数	生涯学習指導員 1名 その他 1名 計 2名		

<地域、施設の案内紹介>

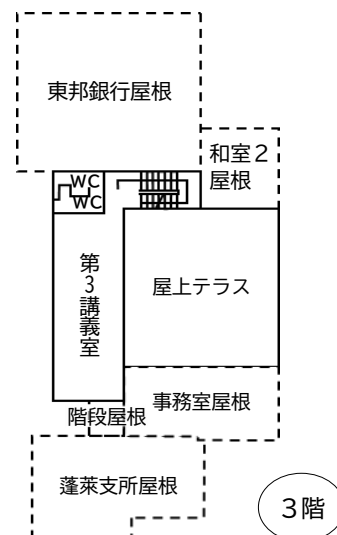
○学習センター分館施設概要

1階	和室 1	54.2 ㎡	20 人
	実習室	80.1 ㎡	30 人
	第一講義室	79.8 ㎡	40 人
	第二講義室	79.8 ㎡	40 人
2階	ホー ル	211.8 ㎡	120 人
	和室 2	45.3 ㎡	20 人
3階	第三講義室	124.3 ㎡	80 人
駐車可能台数		35 台	

平面図



案内図



<運営方針>

地区の特性を活かし、多様化する学習ニーズに応じた事業を展開することで、自発的な学習意欲を喚起し、地域住民の健康的で充実した生活に寄与するとともに「誰もが」「いつでも」「気軽に」施設を利用できる環境を整えることにより、地域住民の「きずな」づくりの拠りどころとなることをめざす。

(2) 地域住民の要望を把握し、市民との協創による事業の推進に努める。

(3) 地域住民の身近な学習・スポーツ・交流の場として、いつでも、誰でも、気軽に利用できる環境づくりに努める。

(1) 地域住民の自己実現を目指す生涯学習の推進・支援に努める。

(4) 地域住民の心と体の健康に寄与できる事業を推進する。

(5) 地域全体で学校教育を支援する体制づくりの推進を図る。

<特色ある事業>

小学3～6年生を対象とした「ちびっこ教室」、小学4～6年生を対象とした「ほうらい科学クラブ」
高齢者を対象とした「蓬萊アカデミー」、「蓬萊寿大学」
女性を対象とした「ほうらいレディースカレッジ」
2～4歳までの子どもとその保護者を対象とした「メダカの学校」

<主な事業>

領域		事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育		ほうらい子どもひろば	小学生・中学生	7月～1月	3	・「生きる力」を育む
		ちびっこ教室	小学生	5月～12月	8	・野外活動を中心とした体験学習
		ほうらい科学クラブ	〃	12月～3月	5	・実験や工作などを中心としたさまざまな科学体験
成人教育	教青年	ヤングカレッジ	青年	4月～3月	1	・スポーツ、文化等の講座を通じた仲間づくり
	教女性	ほうらいレディースカレッジ	成人女性	4月～3月	20	・豊かな人間性を培い社会参画への意識形成
	各種講座等	市民学校	一般市民	4月～3月	28	・一般教養、生活文化、スポーツ等の学習活動の場の設定
		I C T活用セミナー	〃	7月～3月	4	・I T活用を学ぶ
ふるさと学びカレッジ		〃	7月～2月	2	・団塊の世代を中心とした学習	
		市民学習プラン支援事業	〃	年間	随時	・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
高齢者教育		蓬萊寿大学	高齢者	5月～3月	16	・高齢者相互の親睦と健康増進を図る
		蓬萊アカデミー	〃	〃	17	・高度な内容を体系的に学習する
家庭教育		メダカの学校	2～4歳児の保護者	6月～1月	4	・子どもの理解と親の自覚と態度を学ぶ
文化・芸術		地区文化祭	一般市民	10月	1	・作品の展示等
体育・レク		スポーツ教室	一般市民	1月～2月	1	・基礎技術の習得
		ソフトバレーボール大会	〃	1月	1	
		南方部親善球技大会	南方部	8月	1	・ソフトボール大会、家庭バレーボール大会
		卓球大会	一般市民	12月	1	・ダブルス町会対抗
		囲碁、将棋大会	〃	1月	1	・クラス別個人戦
		館長杯家庭ソフトバレーボール大会	〃	7月	1	・町会対抗
		館長杯木球大会	小学5年生以上	10月	1	・団体・個人戦
運住動民		明るい選挙推進啓発	一般市民	年間	随時	
地域学校協働		地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	蓬萊小 蓬萊東小 蓬萊中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

(6)-I 清水学習センター



所在地	〒 960-8252 福島市御山字松川原5-1 TEL 557-7400 FAX 557-7401		
交通機関	福島交通バス イオン福島線「清水学習センター前」停留所 徒歩0分		
設置年月日	平成9年4月1日	建設年月日	平成8年11月21日
面積と構造	(建物) 2,159.90㎡ (敷地) 12,629.46㎡ (構造) RC一部SIF		
人口 (R6.4.1現在)	(男)15,839人 (女)17,438人 (計)33,277人		世帯数 15,605世帯
地区面積	9.17km ²	学 校 数	(小) 4 (中) 1 (高) 1
職 員 数	館長 1 名 職員 3 名 生涯学習指導員 1 名 技能職員 1 名 図書職員 3 名 その他 2 名 計 11 名		
委 員 指導員数	運営審議委員 9 名 青少年指導員 1 名 女性教育指導員 1 名		

<地域の概要>

清水地区は自然公園として市民から親しまれる信夫山の北部および西部に位置し、森合、泉、御山、南沢又、北沢又、野田町の一部の地区から成る。

福島駅から約4kmの市中央部に隣接しており、交通網の整備と共に急激に市街化が進んでいる。3万3千余の多数の人口を有する。

<施設の案内紹介>

清水学習センターは、従来の公民館との一体化により、清水学習センターが拠点となり、清水学習センター分館（旧清水公民館）と共に生涯学習の事業を実施している。

地域の連帯協創を図るために関係団体と連携し、青少年教育の充実と体系化に努め、女性教育では、身近な生活課題の学習に力を注いでいる。さらに成人を対象とした家庭教育、市民学校、高齢者教育など各領域にわたり調和と統一のある事業活動を推進し、生活文化の向上と、明るく住みよいまちづくりに努めている。

清水学習センターの施設利用については、地区の住民及び団体の他、市内各地区からの利用が活発である。

○学習センター施設概要

図 書 室(489㎡)

・蔵書50,299冊

A V(ビデオ・C D)等コーナー こどものひろば

多目的ホール (576㎡)

・バレーボール1面 バドミントン2面

ミニバスケットボール1面

・卓球台7台 ステージ ピアノ1台 舞台照明設備

放送設備 暗幕設備 イス350脚

軽運動室 (57㎡) 壁面ミラー付

視聴覚室 (67㎡) 収容人員45人 机 椅子

液晶プロジェクタ VTR OHC

16mm映像設備 ピアノ1台

研 修 室 (70㎡) 収容人員45人 机 椅子

和 室 (49㎡) 収容人員45人 23畳間

茶道用電熱器 水道

座卓 座布団

調理実習室 (50㎡) 収容人員24人 丸椅子

調理台4台 電気オープンレンジ

工 芸 室 (54㎡) 収容人数25人

工芸台5台 電気陶芸窯

電気工作設備 イーゼル

エントランスホール

・談話コーナー 情報コーナー

・オストメイト対応WC

その他

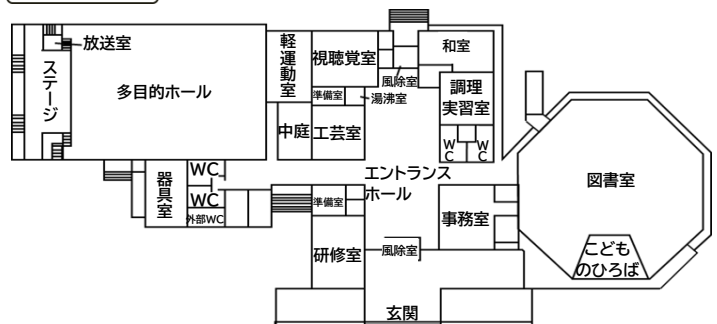
・テニスコート1面 多目的広場 児童遊び場

駐車可能台数 95台 (第1P40台、第2P55台)

案 内 図



平 面 図



(6)-Ⅱ 清水学習センター分館



所在地	〒960-8254 福島市南沢又字柳清水8-1 TEL 557-1411 FAX 557-1464		
交通機関	福島交通飯坂線「泉駅」徒歩3分		
設置年月日	昭和32年4月1日	建設年月日	昭和46年3月25日
面積と構造	(建物)674.00㎡ (敷地)1,383.50㎡ (構造)RC2F		
職員数	生涯学習指導員 1名 その他 1名 計 2名		

〈地域の概要〉

清水学習センター分館(旧清水公民館)は、清水学習センターと共に、地区の生涯学習の一翼を担う事業を継続して実施している。平成14年には、清水小学校の余裕教室を一部改修し、学習センター機能を補完する施設(名称「清水ゆうがく館」)を開設し、生涯学習の場として活用している。

〈施設の案内紹介〉

○清水学習センター分館施設概要(土足禁止)

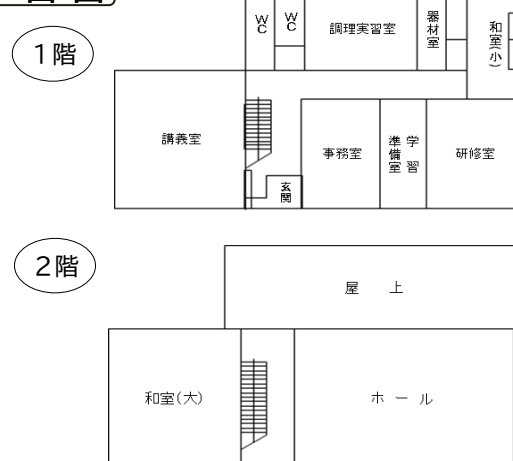
- 1階 講義室 (91.75㎡)
収容人員40人
机 椅子
ピアノ
- 研修室 (53.38㎡)
調理実習室 (45.00㎡)
収容人員25人
調理台
(ガス2台 電気2台)
- 和室(小) (39.03㎡)
収容人員15人
水道 座卓
- 2階 ホール (152.15㎡)
収容人員100人
ピアノ
スクリーン ビデオ
アンプ 机 椅子
- 和室(大) (92.15㎡)
収容人員50人
座卓 座布団

駐車可能台数 20台

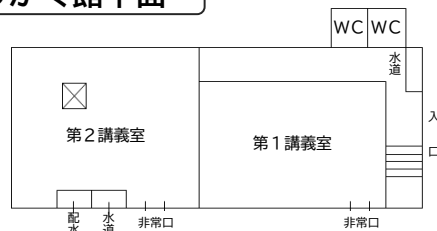
○清水ゆうがく館施設概要(土足禁止)

- 1階 第1講義室 64.0㎡ 30人
第2講義室 86.0㎡ 40人 水道
- 駐車可能台数 20台

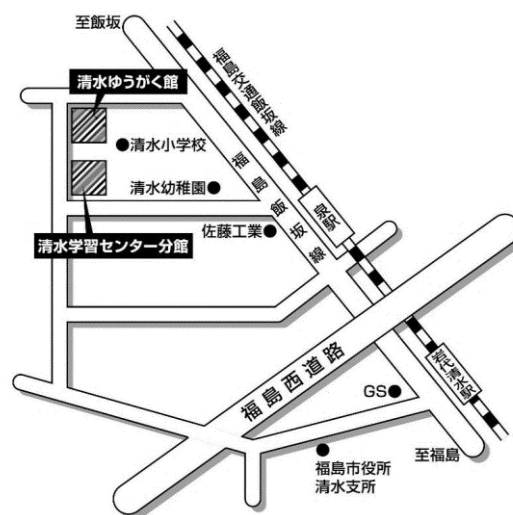
平面図



清水ゆうがく館平面



案内図



〈運営方針〉

市民との協創による生涯学習のまちづくりを進めるため、絆づくりと活力あるコミュニティ形成に向けた学習活動を推進するとともに、地域住民が主体となって学習活動を行い地域コミュニティの再生を実現していくために、多様な学習ニーズに応え、地域での学習活動を支えることを通じて、地域の中に多くの人材を育成する。

また、地域課題に適切に対処し、より住民に密着した施設とするため、地域や社会教育団体等との連携に努めるほか、各団体との橋渡しをすることでより効果的に生涯学習を推進する。

- (1) 生涯学習活動の拠点として、集団学習及び個人学習の学習環境の充実。
- (2) 社会の変化と多様なニーズに応える学級・講座を通じた教養、芸術、文化の向上。
- (3) 団体・サークルの育成、支援、及び関係機関・団体との連携強化。
- (4) 生涯学習の相談機能の充実と、生涯学習に関する情報提供の促進。
- (5) 地域の人材等を活かした市民との協創による事業の推進と、市民運動の促進。
- (6) 施設の立地、及び機能の特性を活かした有効利用の推進。
- (7) 「学校支援地域本部」の推進。
- (8) ICT（情報通信技術の使い方）に対応した学習の推進。

〈特色ある事業〉 遊びの広場、思春期セミナー、不老の広場

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
教 少 育 年	少年育成会研修会 遊びの広場 世代間交流事業	一般市民 小学4～6年生 小学生・高齢者	7月 年間 9月	1 10 1	・少年会・子ども会の育成指導上の研修と情報交換 ・遊びを通じた心身の育成 ・子どもと高齢者が遊びや体験を通しての交流
成 人 教 育	女性教育 しみず女性スクール(午前コース) 〃 (夜間コース) レディースジャンプ 清水地区女性大会	成人女性 〃 〃 清水地区女性	5～2月 5～2月 11月 2月	10 10 1 1	・一般教養・健康・社会生活に関する学習 〃 ・学習課題の協議、各学級間の交流を図る ・住みよい地区を創るため
	教育 清水青年スキルアップ講座	一般市民	5～3月	10	・青年に対し主体的活動を支援する
	市民学校	一般市民	6月～3月	6	・現代的課題や人々から要望のある各種学習の場の提供と自主活動の助長
	豊かなセカンドライフ講座 (陶芸コース) 豊かなセカンドライフ講座 (料理コース) ICT活用セミナー (スマホ・ライン講座) 高齢者と女性のつどい 市民学習プラン支援事業 花のまちガーデニング教室	60歳前後の方 〃 一般市民 高齢者・成人女性 一般市民 〃	6月～12月 6月～10月 11月～1月 11月 年間 12月	8 4 3 1 随時 2	・団塊の世代を中心とした豊かな趣味の世界を広げる体験学習活動 ・文書作成等基本操作の修得 ・高齢者と女性の交流による明るい地域社会の創成 ・市民団体が主体的に企画、立案した講座の支援 ・「市民との協働による緑化」「花観光45万人」の実現に向けた事業の推進
	高齢者教育 生きがい広場 不老の広場 高齢者の意見発表大会 元気アップ事業(スマホ講座)	高齢者 〃 〃 〃	5月～2月 5月～2月 3月 11・12月	10 10 1 2	・生きる喜びと仲間意識の醸成 ・豊かな老後の生活と高齢者の果す役割 ・人前で発表することにより自信をもって健やかに生きる糧とする ・デジタル機器を習得する
家 庭 教 育	清水家庭教育講座(1歳～4歳児)	親子	6月～3月	9	・幼児とその保護者を対象に集団でのルールと子育てについて学習する
	清水思春期セミナー	一般市民	6月～2月	8	・子どもたちを取り巻く諸問題と成長の変化に対する親(大人)のかかわり方の学習
芸 術 ・ 文 化	地区文化祭 (清水学習センター分館)	青少年・成人	10月	1	・団体・一般住民等の創作活動の発表と交流
	生涯学習のつどい (清水学習センター本館)	〃	9月	1	・団体の創作活動の発表と地域住民との交流
体 育 ・ レ ク	テニススクール 〃 (ナイター) 清水地区親善テニス大会 体育協会情報交換会	一般市民 〃 〃 〃	4月 8月・9月 5月 3月	5 5 1 1	・テニス普及・向上のため、初級・中級コース実技 〃 ・クラス別ダブルス大会 ・各体育協会の活動内容等の情報交換
運 住 動 民	明るく正しい選挙推進啓発	一般市民	年間	常時	・関係機関団体と連携をとりつつ啓発運動を推進する
地 域 学 校 協 働	地域学校協働本部事業	森合小 清水小 御山小 北沢小 清水中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等)
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動				・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動 (地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)

(7) もちずり学習センター



所在地	〒960-8204 福島市岡部字高畑46 TEL 534-2470 FAX 534-2473		
交通機関	福島交通バス 文知摺・掛田行「高畑」徒歩2分 月輪・梁川行「岡部」徒歩6分 「東部支所前」徒歩1分		
設置年月日	昭和56年4月1日	建設年月日	昭和56年3月20日 平成18年1月23日増改築
面積と構造	(建物)1,316.40㎡ (敷地)6,360.00㎡ (構造)RC一部S2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)5,210人 (女)5,544人 (計)10,754人		世帯数 4,816世帯
地区面積	32.65km ²	学 校 数	(小)2 (中)－ (高)－
職 員 数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 図書職員 3名 その他 1名 計 9名		
委 員 指導員数	運営審議会委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

〈地域の概要〉

もちずり地区は、毎年、白鳥が飛来することで市民に親しまれている阿武隈川の東部に位置し、岡山・大波・月輪・向瀬上地区から構成されている。当地区は、福島市の中心市街地より近距離にあり、宅地化の進行、さらに福島工業団地の造成などにより着実な発展を続けている。

農業面では、都市近郊型農業としてきゅうり栽培が盛んで、県内有数の生産量を誇っている。

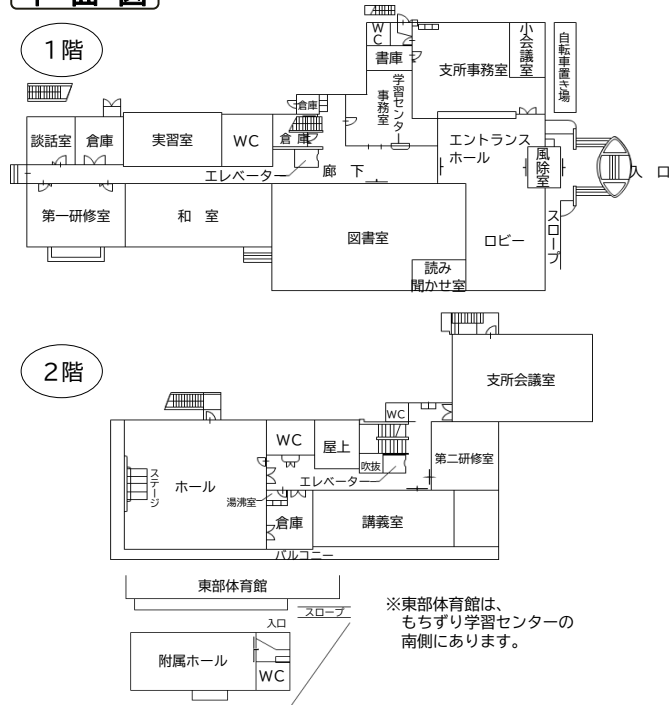
また、松尾芭蕉ゆかりの文知摺観音・月輪渡し跡、さらに宮畑遺跡等の史跡・文化財が多数点在するほか、小鳥の森も有するなど、自然と文化の調和のとれた地域である。

〈施設の案内紹介〉

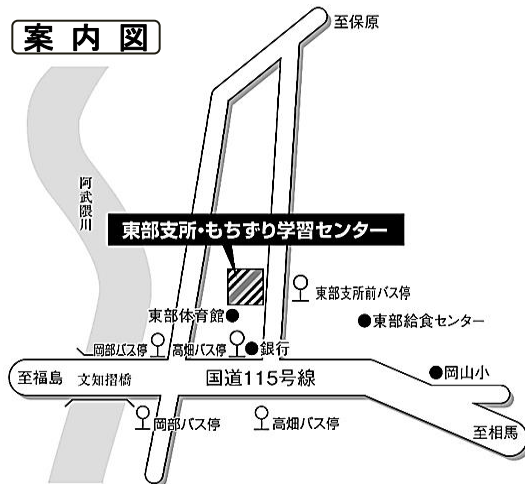
○学習センター施設概要

図 書 室	212㎡	
	蔵書数 33,211冊	
	AVコーナー	
	(ビデオ・DVD等)	
	読み聞かせ室	
ホ ー ル	201㎡	120名
附属ホール	117㎡	40名
第一研修室	60㎡	30名
講 義 室	90㎡	60名
第二研修室	50㎡	20名
和 室	90㎡	80名
実 習 室	52㎡	30名
談 話 室	23㎡	10名
そ の 他	エントランスホール	
	ロビー	
駐車可能台数	100台	(東部支所・東部体育館共用)

平面図



案内図



〈運営方針〉

多様化する地域住民の生涯学習に対するニーズと地域課題等を的確に把握し、幅広い世代の学習意欲向上につながる魅力ある事業の研究と推進に努め、活気ある生涯学習拠点としての機能の充実を図る。

(1) 社会教育、スポーツ・文化活動及び個人学習の拠施設として、健康で心豊かな活力ある地域住民の育成に努める。

(2) 社会教育関係団体との連携を深め、地域における各種団体活動の促進と活動内容の充実を支援する。

(3) 地域に根ざした学習センターとして、地域住民の利用しやすい学習機能の充実と安心・安全に利用できる施設の環境整備に努める。

(4) 地域住民や関係団体との協創による事業の推進を図り、明るく住みよい地域づくりに努める。

(5) 地域学校協働本部事業の推進を図る。

〈特色ある事業〉いきいきふれあい広場、ひよこの広場

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	ジュニアリーダー教室	少年	5月～2月	12	・小学5・6年生対象、少年会リーダーとしての知識技術の習得
	子どもチャレンジ	少年・成人・高齢者	7月～1月	4	・小学生対象、調理や門松作りなど多様な経験を積む
	いきいきふれあい広場	少年・成人	5月～2月	11	・幼稚園（年長）～小学4年生対象、世代間交流事業
	親と子と本のつどい	少年・成人	11月	1	・人形劇や劇等
成人教育	もちずり青年講座	青年	4月～3月	12	・一般教養・レクリエーション・スポーツ等に関する学習
	女性学級もちずりレディース	成人女性	5月～3月	19	・女性の家庭生活に関する課題を理解する学習
	もちずり女性講座	女性	〃	12	・〃
	女性講座（大波地区）	女性	8月～3月	2	・女性の健康管理、生活課題を理解する学習
	女性団体研修会	女性	4月～3月	2	・現代における女性団体のあり方を学習
	市民学校 ふるさと学びカレッジ IT活用セミナー 市民学習プラン支援事業	一般市民 〃 〃 〃	8月～10月 4月～3月 5月～2月 年間	11 8 10 2	・現代的テーマを取り上げた講座（4コース） ・人間性豊かな生活を営むための講座（ぶらり悠々散歩・みそ作り） ・高度情報化に対応したパソコン講座 ・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
高齢者教育	ことばき大学 ゆうゆうセミナー 高齢者出前講座	高齢者 〃 〃	5月～2月 〃 9月～12月	10 10 2	・教養や生活文化に関する学習 ・〃 ・〃
	家庭教育学級（ひよこの広場） 子育て広場	幼児と保護者 〃	5月～3月 5月～3月	9 11	・2～4歳児と保護者対象、幼児の心身発達の学習 ・未就園児と保護者対象、子育ての情報交換、育児相談
文化・芸術・文芸	文化祭 芸能祭	一般市民 〃	10 3月	1 1	・各種作品の展示 ・歌謡曲・日本舞踊等の発表及び交流
	体育協会代表者会議 スポーツ講座 親善球技大会 高齢者スポーツ大会 新春囲碁将棋大会	代表者 少年・成人 一般市民 高齢者 一般市民	12月 7月 6月 6月・9月 1月	1 3 1 2 1	・体育行事等の打合せ ・ニュースポーツ教室 ・チーム対抗ソフトバレーボール大会 ・老人クラブ対抗スポーツ・レクリエーション大会 ・クラス別囲碁・将棋大会
住民運動	地域クリーン活動 花のまちガーデニング教室 選挙啓発活動	少年・成人 一般市民 〃	年間 〃 〃	1 2 常時	・学習センター一斉清掃 ・ガーデニング教室 ・明るい選挙推進事業
	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	岡山小 月輪小 福島第三中 ふくしま支援学校	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

(8) 北信学習センター



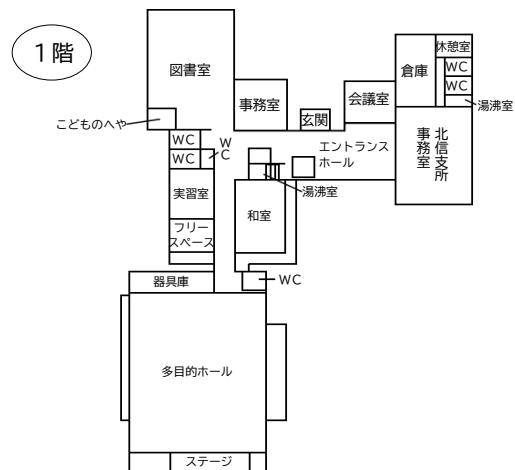
所在地	〒960-0102 福島市鎌田字中江1 TEL 554-1115 FAX 554-1322		
交通機関	東北本線「東福島駅」 徒歩10分 阿武隈急行「卸町駅」 徒歩 7分		
設置年月日	昭和42年4月1日	建設年月日	平成 5年3月15日 増改築平成20年3月28日
面積と構造	(建物)1,554.98㎡ (敷地)8,996.78㎡ (構造)RC2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)15,119人 (女)15,821人 (計)30,940人		世帯数 14,353世帯
地区面積	17.26km ²	学 校 数	(小) 4 (中) 1 (高) 1 (大) 1 (短) 1
職 員 数	館長 1名 職員 3名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 図書職員 3名 その他 1名 計 10名		
委 員 指導員数	運営審議会委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

〈地域の概要〉

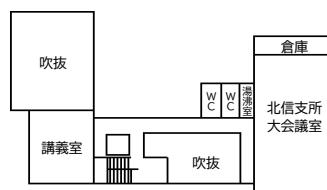
北信地区は、福島市の東部に位置し、鎌田・瀬上・余目の3つの行政区から成り立っている。主な特徴として、市中央の隣接地であることから域内の宅地化が進み、他方において県北地方の物流拠点でもある公設地方卸売市場、卸商団地、そして近隣の工業団地には企業が多数立地しており、それらを軸とした商工業の展開による安定した雇用の土台がある。さらに幹線道路沿いの出店などもあり都市化も進んでいる。また農業面においては、りんごの主産地としても知られている。

福島学院大学や福島県教育センターをはじめとして6校の公立学校のほか、医療センターなども設置されており、文教・医療の地区といった側面もある。

平面図



2階



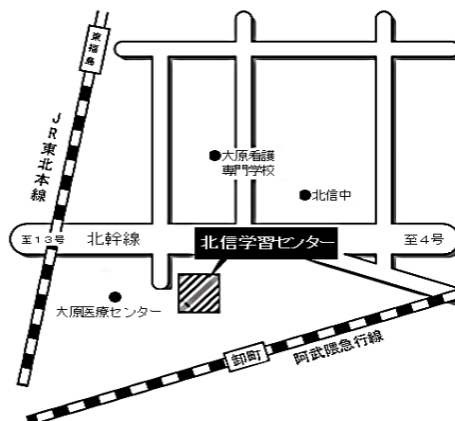
〈地域、施設の案内紹介〉

○名所 ・ 旧跡 宮代館跡、
鎌秀院(義民、猪狩源七の墓)、
瀬上陣屋跡、月輪渡跡、日枝神社

○学習センター施設概要

1階	和 室	84.0 ㎡	60人
	実 習 室	51.9 ㎡	30人
	多目的ホール	665.0 ㎡	200人
	図 書 室	283.27㎡	蔵書33,821冊
			AVコーナー
			こどものへや
2階	講 義 室	108.0 ㎡	60人
駐車可能台数 85台			

案内図



〈運営方針〉

多様化高度化する市民の学習ニーズを的確に把握し、「出会い」「ふれあい」「学びあい」の場を提供するため、生涯の各時期にわたる学習体系を確立し、参加しやすい学習環境づくりや市民との協働による生涯学習の推進に努める。

(1) 学習活動奨励事業の推進に努める。

(2) 学習活動援助事業の推進に努める。

(3) 学習情報の提供と相談事業の充実に努める。

(4) 地域に広がる事業の振興を図る。

(5) 学習成果が地域社会に還元されるよう、地域住民への働きかけに努める。

〈特色ある事業〉古文書セミナー、みどりの広場、世代間交流事業

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	あそびの広場	小学3・4年生	5月～2月	10	・様々な遊びを通じ、健全な心身を養う
	北信リーダー教室	小学5・6年生	〃	10	・様々な活動を通じ、社会性・協調性を養い、集団をまとめるリーダー養成と集団研修
	北信ジュニア将棋教室	小・中学生	5月～2月	10	・将棋を通して、礼儀作法と物事に耐える力を養う
	オセロチャンピオン大会	小学生	8月	1	・レクリエーションを通じた交流
	親子ふれあい広場	親子	年間	4	・親子参加による体験学習
成人教育	女性スクール (2クラス) レディースジャンプ	成人女性	年間 12月	40 1	・女性の資質向上と地域連帯意識の醸成
	市民学校	一般市民	年間	15	・生活・文化・教養等の学習
	ほくしん学びカレッジ	〃	4月～11月	7	・“地域を知る”、“仲間づくり”を図る
	ICT活用セミナー	〃	9月・1月	4	・パソコン操作の基礎、応用など
高齢者教育	市民学習プラン支援事業	〃	年間	2	・地域社会教育団体への支援
	北信悠々クラブ	高齢者	5月～12月	8	・高齢者の生きがいづくりと地域参加
	北信寿学園	〃	7月～1月	4	・〃
	みどりの広場	〃	5月～12月	9	・〃
	高齢者元気アップ事業	〃	5月～7月	2	・〃
家庭教育	世代間交流事業	三世代	6月	1	・世代間交流と地域活動
	ほくしんキッズクラブ	幼児と保護者	5月～2月	10	・家庭教育の重要性と親の役割についての学習
文化・芸術	北信文化まつり	地区住民	10月	2	・作品展示と芸能発表など
	北信文化講演会	〃	2月	1	・教育文化講演会
	おとしより作品展	高齢者	9月	2	・高齢者の手作り作品展示
体育・レク	北信スキー・スノボ教室	小学生	1月	2	・スキー基礎実技の習得
	一般スポーツ教室	一般市民	6月～9月	10	・スポーツの基礎技術習得と健康増進を図る
	高齢者ミニゴルフ大会	高齢者	6月	1	・高齢者親善ミニゴルフ大会
	新春囲碁・将棋大会	一般市民	1月	1	・愛好家による親善大会(囲碁・将棋)
運住動民	明るい選挙推進事業	一般市民	年間	随時	・関係機関団体との連携協力による啓発事業
地域学校協働	地域学校協働本部事業	鎌田小 瀬上小 余目小 矢野小 北信中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等)
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動				・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)

(9) 吉井田学習センター



所在地	〒960-8166 福島市仁井田字西下川原1番地の1 TEL 546-3445 FAX 546-3516		
交通機関	福島交通バス 土船泉 「国体記念体育館入口」徒歩5分		
設置年月日	平成7年7月1日	建設年月日	平成7年6月1日
面積と構造	(建物)852.22㎡ (敷地)6,436.10㎡ (構造)RC2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)5,752人 (女)6,150人 (計)11,902人		世帯数 5,233世帯
地区面積	4.52km ²	学 校 数	(小)1 (中) - (高)1 (養)1
職員数	館長1名 職員2名 生涯学習指導員1名 技能職員1名 その他2名 計7名		
委員 指導員数	運営審議会委員9名 青少年指導員1名 女性教育指導員1名		

〈地域の概要〉

吉井田地区は、清流荒川右岸に沿った仁井田、吉倉、八木田、方木田の4地区からなり、JR福島駅西口から荒川を挟み、南西へ約2kmの近距離に位置している。

かつては、水田、果樹地帯が多くを占めていたが、国道115号バイパスや国道13号福島西道路等の幹線道路のほか、荒川桜づつみ河川公園、生涯スポーツの拠点施設となる福島トヨタクラウンアリーナ（国体記念体育館）など、都市基盤や施設整備が着実に進み、自動車産業系施設や大型商業施設などが立地する一方、八木田、方木田地区を中心に宅地化も進み、良好な住宅環境を形成している。

また、福島大学附属特別支援学校、県立福島西高等学校、福島市あらかわクリーンセンター、リサイクルプラザや福島市老人福祉センターなど多くの公共施設が立地しているほか、介護支援事業所も増加している。

〈地域、施設の案内紹介〉

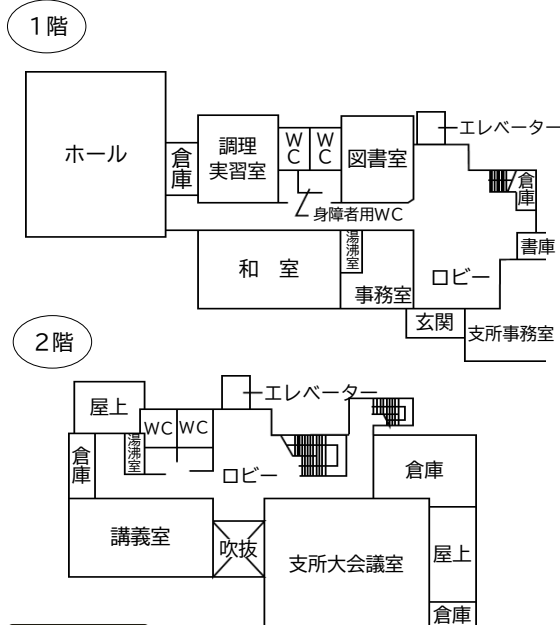
○名所・旧跡

吉倉八幡神社本殿壁面彫刻（市有形文化財）
仁田神社、北島の雨地藏、宝勝寺、双体道祖神、
山王道標、八木田神明神社、方木田稻荷神社など

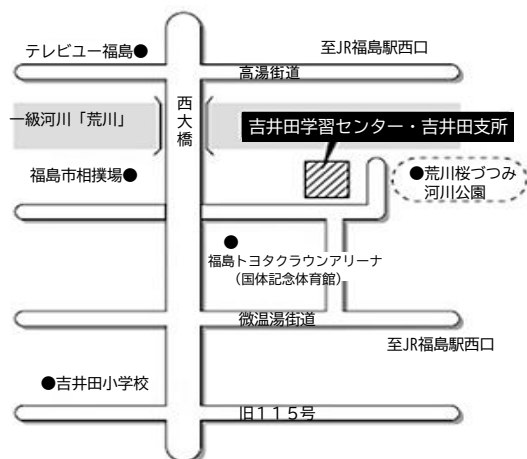
○学習センター施設概要

1階	ロビー	149.08㎡	
	ホール	180.00㎡	100人
	和室(45.5)	90.65㎡	60人
	調理実習室	52.22㎡	25人
	図書室	48.22㎡	蔵書 9,335冊
	事務室	37.89㎡	
2階	ロビー	103.46㎡	
	講義室	88.02㎡	50人
駐車可能台数		60台	

平面図



案内図



〈運営方針〉

- (1) 地域の力を育む社会教育・生涯学習活動の推進に努める。
- (2) 多様化するニーズに応じた学びを通じて、地域への関心を高め地域社会とつながる意識や住民同士のつながりづくり。
- (3) 地域のコミュニティづくりを支える地域の各種団体等への継続的かつ必要な活動支援に努めるとともに、市民の共創による持続可能な地域づくりの推進に努める。
- (4) 地域を担う人材の発掘と多様な学びによる人づくり、及び、学びを地域や社会に還元する「学びと活動の循環」を形成できる環境づくりに努める。
- (5) 地域とともにある生涯学習の土台となる施設として、利用しやすい学びの環境づくりと施設の効率的な管理・運営に努める。

〈特色ある事業〉 少年教室ヨッシーキッズ、子どもひろば、夏休み防災キャンプ、ふるさと再発見事業、食と健康づくり事

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	少年教室ヨッシーキッズ 子どもひろば 子ども映画上映会 子どもの居場所づくり支援事業	小学3～6年 主に小学生 小学生 〃	5月～2月 1月～3月 7月～3月 4月～3月	10 3 3 12	・異年齢集団活動、世代間交流、ふるさとから学ぶ事業 ・体験遊びの場の提供・地域の交流 ・学童クラブ等との連携による映画上映 ・NP0との連携による地域の子どもの居場所づくりと多世代交流の場「よいだキッチン」の支援 ・夏休み子ども寺子屋、冬休み子ども書き初め教室など
	夏・冬休み子ども応援事業 地域連携防災教育事業 「夏休み防災キャンプ」	〃 主に小学生	7月～1月 8月	3 1	・地域の協力、連携による防災教育 避難生活体験型の宿泊
成人教育	教育青年 教女育性	青年	6月～2月	8	・青年期に必要な学び
	吉井田女性スクールSAKURA	成人女性	5月～3月	14	・食の安全・環境、健康に関する学び
	市民講座（各期） 食と健康づくり支援事業 「よいだ健康教室」 男の料理教室 花のまちガーデニング教室 ふるさと再発見事業 ICT活用推進事業 市民学習プラン支援事業 地区出前講座 防災・減災教育事業	一般市民 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	6月～2月 6月～3月 〃 5月・11月 4月～3月 6月～2月 年間 〃 9月～12月	随時 2 2 2 4 随時 1 2	・一般教養、文学講座など ・地域の団体・関係機関等と連携・協働による食と健康づくり ・男性の社会参加と地域交流 ・地域の花いっぱい運動に協力 ・地域への愛着や誇りを育み、特色ある地域づくりを支援 ・高齢者のICTスキル向上、交流機会を創出する ・地域団体等の生涯学習事業企画を支援する ・地区の町内会、各種団体等の要望に応じ開催 ・減災の学びと交流を通して地域づくりを支援
	高齢者	高齢者	5月～2月	12	・世代間交流、健康づくり、高齢者の生きがい支援
家庭教育	ママRingよいだ もも、りんご、コース 親子ふれあい講座	未就学児と母親 〃	5月～2月 9月～2月	12 4	・食生活と健康、子育て講話、季節の行事体験（教育託児） ・親子のコミュニケーションを深める
	芸術文化・	一般市民 〃	10月 12月	1 1	・作品の展示発表・活動紹介と地域交流 ・各芸能団体の学習成果発表
体育・レク	地区少年体育会球技大会 西部部親善球技大会 地区内親善スポーツ大会 吉井田地区民大運動会 少年スケート教室 新春囲碁大会	小・中学生 一般市民 〃 〃 小学生 一般市民	6月～2月 8月～2月 5月～3月 10月 2月 2月	4 4 6 1 1 1	・サッカーソフトボール等の少年会対抗戦 ・ソフト、バレー、木球、卓球等の地区対抗戦 ・ソフト、バレー、ボウリング等の地区対抗戦 ・地区内の町会対抗による各種競技 ・基礎技術の習得 ・愛好者による個人戦
	住民運動	一般市民 〃 〃 〃 〃 〃	年間 〃 〃 〃 〃 〃	随時 〃 〃 〃 〃 〃	・関係機関団体との連携協力による啓発活動等 ・〃 ・〃 ・河川環境整備の協力、荒川フェスティバルの協力等 ・田植え、稲刈り等の地域協働活動の協力 ・常時啓発と推進
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	吉井田小 岳陽中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

(10) 西 学 習 センター



所在地	〒960-2155 福島市上名倉字妻下4-2 TEL 593-1013 FAX 593-5198		
交通機関	福島交通バス 荒井 土湯温泉線 「佐倉局前」徒歩1分「あらいクリニック前」徒歩3分		
設置年月日	昭和40年4月1日	建設年月日	昭和59年3月26日
面積と構造	(建物)821.04㎡ (敷地)4,904.12㎡ (構造)RC2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)3,494人 (女)3,494人 (計)6,813人		世帯数 2,587世帯
地区面積	94.81km ²	学 校 数	(小)3 (中)1 (高)ー
職 員 数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 その他 2名 計 7名		
委 員 指導員数	運営審議会委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

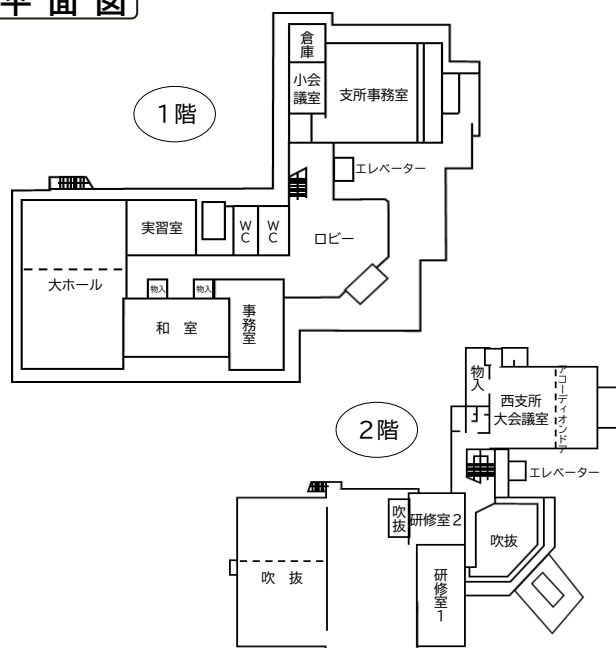
〈地域の概要〉

西地区は福島市の西南に位置し、佐倉、荒井、土湯温泉町の3地区からなり、土湯峠から福島西I.C周辺まで荒川の流れに添うかのように広がる。管内を国道115号線が東西に走っている。

佐倉には各種企業が立地し、荒井には自衛隊や官公庁の出先機関があり、公共公益施設が集中しているが、西地区全体としては静かな農村のたたずまいをまだ残している。

また、あづま総合運動公園や民家園、水林自然林、クロスカントリーコース、四季の里（農村マニユファクチャー公園）もあり、豊かな自然環境に恵まれた土湯温泉郷とともに市のレクリエーションエリアになっている。

平面図



〈地域、施設の案内紹介〉

- 名所 ・ 旧跡
- 名所 慈徳寺の種まき桜
- 水林自然林
- 聖徳太子堂
- 旧跡 名倉城跡

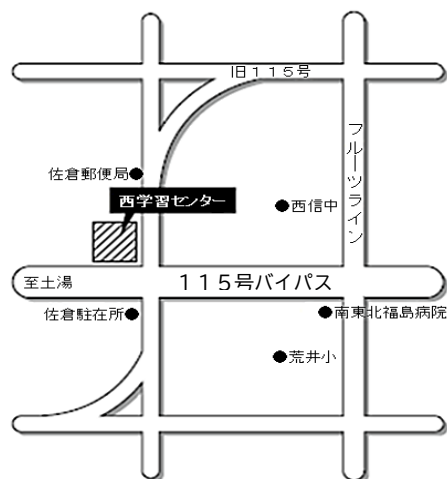
○学習センター施設概要

1階	和 室	74.34㎡	70人
	実 習 室	46.80㎡	30人
	大ホ ー ル	210.27㎡	200人
	ロ ビ ー	106.01㎡	
(図書室として使用、蔵書11,423冊)			
(いこい広場のストリートピアノ、学習スペース)			

2階	研 修 室 1	70.89㎡	30人
	研 修 室 2	44.28㎡	18人

駐車可能台数 40台

案内図



〈運営方針〉

- (1) 地域の生涯にわたる学習の中心施設として、学習活動への支援、多様な学習機会と情報の提供、相談体制の充実に努め、かつ自ら学ぶ意欲の形成を図る。
- (2) 地域住民の身近な学習・交流の場として、親しまれ、利用される環境づくりに努める。
- (3) 地域公共施設、地域環境資源、地域人材の活用を図り、住みよい地域づくりに努める。
- (4) 関係機関・団体と連携し、団体・グループの育成助長に努める。

〈特色ある事業〉わくわく交流通学合宿

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	子ども会育成会役員等研修会	小中学生の保護者	11月	1	・地域で指導できる親づくりのための研修等
	少年教室「西こどもクラブ」	小学生	5月～3月	13	・ふるさとから学ぶ地域学習、自然探訪や世代間交流など
	こども仕事じゅく	〃	8月	1	・仕事の体験（見学）学習
	科学工作教室	〃	〃	1	・身近なもので共同製作
	親子教室	小学生と保護者	12月	1	・親と子の体験学習などで親子の絆を深める
	わくわく交流通学合宿	小学生	8月～9月	1	・小学校3～4年生向けの短期間の通学合宿
	こども自然体験教室	〃	7月	1	・地域での自然体験
	新春書き初め&茶道教室	〃	1月	1	・書き初めと茶道の学習を通じた世代間交流
成人教育	教育青年 四館合同IUPカレッジ	青年	5月～2月	8	・青年期に必要な学びと交流
	教女育性 西女性スクール	成人女性	4月～3月	13	・女性の資質向上と地域参加
	各種講座等	一般会市民	2月	3	・町会との共催による生活に密着した身近な学習会
		〃	7月～12月	5	・生活、文化、教養等の学習
		〃	7月～9月	3	・いきがいくくりと地域交流の場を提供する
		〃	年間	随時	・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
		〃	2月	1	・スマホ、Excel、Wordなどの身近なICT講座
		〃	4月	1	・特色ある事業所の見学学習
高齢者教育	西ことばき学級	高齢者	5月～2月	10	・健康と生きがいづくりの学習
	ぼかぼかClub	0～3歳児と保護者	5月～2月	10	・親と子の関わり、子育てと仲間づくりなどの学習
芸術文化・	歴史講座	一般市民	8月～3月	2	・歴史から学ぶ、ふるさと再発見
	西地区文化祭	〃	10月	1	・西学習センターを会場にしての学習発表と地域住民の交流
体育・レク	西部少年球技大会	小・中学生	7月	1	・ソフト、フットベースボール、バレーボール
	西部少年卓球大会	〃	1月	1	・卓球
	西部総合球技大会	一般市民	8月	1	・ソフトボール、家庭バレーボール
	西部親善木球大会	〃	9月	1	・木球
	西部親善ボウリング大会	〃	11月	1	・ボウリング
	西部親善卓球大会	〃	2月	1	・卓球
	西部親善ポッチャ大会	〃	3月	1	・ポッチャ
	ふる里自然探訪	〃	5月	1	・トレッキングで自然にふれあう
運住動民	明るい選挙推進事業	一般市民	年間	随時	・関係機関団体との連携協力による啓発
地域学校協働	地域学校協働本部事業	荒井小、井倉小、佐原小、佐西小、佐信小	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等）
	・学校支援活動 ・地域学校協働活動				・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

(11) 信陵学習センター



所在地	〒960-0241 福島市笹谷字オノ神1 TEL 558-1234 FAX 559-2097		
交通機関	福島交通飯坂線「笹谷駅」 福島交通バス 中野行「信陵支所」		
設置年月日	昭和42年4月1日	建設年月日	平成6年5月30日
面積と構造	(建物)955.06㎡ (敷地)9,264.76㎡ (構造)RC2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)6,632人 (女)7,158人 (計)13,790人		世帯数 6,362世帯
地区面積	48.80km ²	学 校 数	(小) 2 (中) 1 (高) - (支) 1
職 員 数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 1名 その他 3名 計 8名		
委 員 指導員数	運営審議会委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

〈地域の概要〉

信陵地域は福島市の北西部に位置し、「大笹生地区」と「笹谷地区」の2地区からなっている。

大笹生地区は歴史と豊かな自然に恵まれ、フルーツライン沿いに果樹地帯が広がり、くだもの王国福島観光の一翼を担っている。さらに、十六沼公園やびよんびよんドームなど施設の充実、近年は東北中央自動車道の大笹生インターチェンジ付近の道の駅や工業団地整備などにより新たな発展がめざましい。

笹谷地区は福島交通飯坂線の利便性を有し、閑静な住宅街として発展している。近年、区画整理や道路網の整備によって多くの企業や大型店舗等の進出が著しく、地域の生活経済を支えるとともに福島市の経済発展に大きな役割を果たしている。

今後、2地区の特性を融合し、さらなる発展が予想される。

〈地域、施設の案内紹介〉

- 名 所 大笹生十六沼公園の“桜”
愛宕神社の“ヒイラギ”
- 施 設 “大笹生ダム”
“ふくしまスカイパーク”
“十六沼公園”

○学習センター施設概要

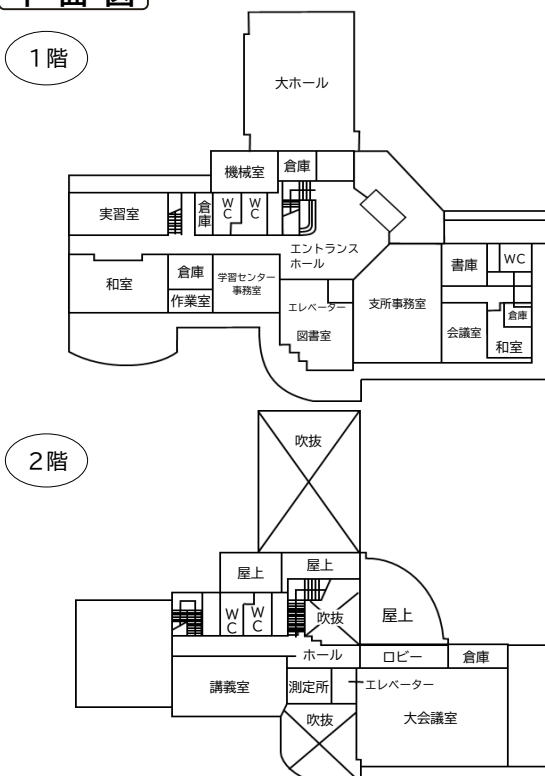
1階	和 室	76.7㎡	50人
	実 習 室	54.8㎡	30人
	大ホー ル	193.0㎡	120人
	図 書 室	78.3㎡	蔵書9,318冊
2階	講 義 室	90.6㎡	60人

体育施設

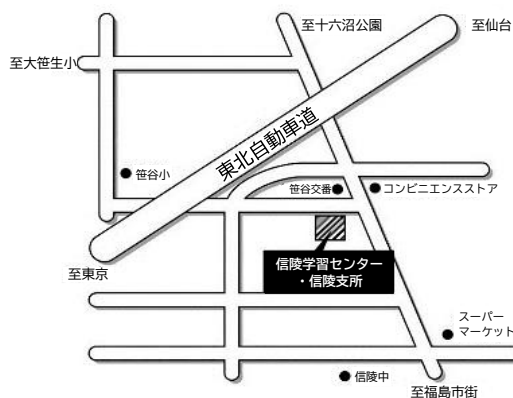
ゲートボール場 1面 623.9㎡

駐車可能台数 100台（信陵支所と共用）

平面図



案内図



〈運営方針〉

- (1) 社会の変化に対応し、住民ニーズの把握に努めると共に、ライフステージに応じた各種事業を展開する。
- (2) これまで培ってきた経験や知識が豊富な地域の人材を活かすため、その発掘に努めながら各講座の講師を依頼するなど、その育成強化を図る。(市民企画型市民講座)
- (3) 地域の関係機関、団体との連携を図る。特に小中学校・支援学校との連携の強化に努める。(学校支援地域本部の推進)
- (4) 各利用団体・サークル活動を支援し育成を図るとともに、活動の発表の場である地区文化祭などの行事の企画運営を委ね、積極的な運営参加を促す。

〈特色ある事業〉信陵ジュニアカレッジ－S J C－、ふるさと学びカレッジ「あづま男と淑女の会」、企画もちこみ型市民講座

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
教 育 年	信陵ジュニアカレッジ－S J C－ 信陵わいわい広場	小学4～6年生 小学生	5月～3月 7月・12月	11 2	・リーダーとしての知識や技術の習得及び諸学習 ・多様な体験講座により、子どもの感性や創造力を育む
成 人 教 育	ICA・KITAヤングカレッジ	18～30歳代の男女	4月～3月	21	・一般教養、体育レク、野外活動を通じた仲間づくりと豊かな人間形成を図る
	信陵スマイルレディース 信陵梨花レディース レディスジャンプ	成 人 女 性 " "	5月～3月 5月～3月 12月	11 10 1	・昼間・夜間ごとに活動し、主体的な学級運営を推進する。 女性の資質向上、社会生活への適応力、家庭生活における技能の向上を目指す。併せて、学級生の交流を図る。 ・各学級の運営、学習課題の協議、各学級間の交流を図る
	ICT活用セミナー	一般市民	10月・12月	2	・パソコン入門及び活用講座
	ふるさと学びカレッジ 「あづま男と淑女の会」 市民講座 (主体型・市民企画型・応援型) 市民学習プラン支援事業	40～70歳代の男女 一般市民 " "	4月～3月 " " 10月	10 12 1	・働きざかりの世代を主な対象とした事業を実施し、働きざかりの世代が活躍できる場面づくりをする ・住民ニーズに応じた各種事業を展開し、地域の教育力の向上を図る ・地域団体等が主体的に行う事業の実施を支援し、地域の教育力の向上を図る
高 齢 者 教 育	悠遊塾(木曜コース) 悠遊塾(金曜コース)	高 齢 者 "	5月～3月 "	11 11	・高齢者対象の教養・生活文化、健康等に関する学習と交流
家 庭 教 育	ひまわり教室	2～4歳児と保護者	5月～3月	11	・親子ふれあいの学習を通して、友達づくりや子どものしつけ方を学ぶ
	キッズフェスティバル	3～6歳児と保護者	11月	1	・影絵、人形劇などの演劇等により親子でふれあい子育て家庭相互の交流を図る
芸 文 化 ・ 文 化	信陵地区文化祭	地 区 住 民	10月	1	・各種作品、資料の展示、学習成果発表、演技披露、模擬店等による地域交流と生涯学習の啓発・推進
	信陵地区芸能祭	"	6月	1	・地区内の各種団体による学習成果発表(演技披露)による地域交流と生涯学習の啓蒙・推進
体 育 ・ レ ク	信陵地区スポーツレクリエーションまつり	地 区 住 民	6月	1	・地区住民を対象とした各種スポーツの祭典
	信陵地区ウォークラリー大会	"	11月	1	・子どもから高齢者まで、誰でも参加できる「ウォークラリー大会」
	利用団体対抗!ユニカール大会	利用団体会員	12月	1	・ユニカールによる利用団体登録サークル間の交流
	利用団体対抗!ポッチャ大会	"	8月	1	・ポッチャによる使用団体登録サークル間の交流
運 住 動 民	青少年健全育成運動の推進 明るい選挙推進啓発	地 区 "	年 間 "	常時 "	・関係機関団体との連携協力による啓発事業
地 域 学 校 協 働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	大 笹 生 小 笹 谷 小 信 陵 中	年 間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校内内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等) ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)

A black and white photograph showing the exterior of the National Diet Building. The building features a long, low profile with a series of large, dark-framed windows. To the left, there is a covered walkway or entrance area. The foreground consists of a paved plaza with some low-lying plants and a small, dark, conical object. Trees are visible in the background and to the right.

〈地域の概要〉

また、飯坂温泉は、鳴子・秋保とともに奥州3名湯に数えられる歴史ある温泉地で、名所旧跡が数多く点在し、さらに周辺地域は果樹栽培が盛んで、自然環境にも恵まれた「いで湯とくだものの里」である。

また、味覚の時期は「フルーツライン」沿いに観光果樹園が軒を並べ、くだもの狩りを楽しむ観光客や家族連れで賑わう。

○学習センター施設概要

暗幕設備 ピアノ イス280脚

〈運営方針〉

- (1) 生涯学習の推進及び会社の変化とニーズに対応した学習機会の充実をはかる。
- (2) 各種事業活動の内容充実と実施運営の効率化につとめる。
- (3) 関係団体の健全な組織運営と事業活動の育成支援につとめる。
- (4) 諸機関、団体と連携し、効果的な地域活動の推進をはかる。
- (5) 市民運動の啓発推進と「地域づくり」のための学習推進をはかる。

〈特色ある事業〉遊びのがっこう、夏休みこどもひろば、飯坂方部女性のつどい、世代間交流事業（3地区）

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	遊びのがっこう 夏休みこどもひろば 子どもまつり 防災キャンプ	小学4～6年生 小学生 小・中学生 小・中学生	5月～3月 7月～8月 10月 8月	11 3 1 1	・学校や学年の枠にとられない野外活動等の体験学習 ・工作、折りがみ、プラ板づくりなど ・世代間の交流、レクリエーション等 ・地域の協力、連携による防災教育、避難所体験
成人教育	教育年 ICA・KITAヤングカレッジ	青年	4月～3月	21	・青年の教養学習と仲間づくり
	女性講座（4地区） 女性スクール（3学級） レディスジャンプ 飯坂方部女性のつどい 女性団体リーダー研修会	成人女性 〃 〃 〃 〃	5月～3月 〃 11月 10月 9月	10 33 1 1 1	・女性の資質の向上と地域課題の学習 ・女性の資質の向上と地域課題の研究 ・現代的課題の学習と学級生の交流 ・地域の課題を研究討議 ・女性団体のリーダー養成
	市民学校 ICT活用セミナー ふるさと学びカレッジ ～男性チャレンジスクール～ 市民学習プラン支援事業	一般市民 〃 〃 〃	年間 7月・12月 5月～3月 5月～2月	10 4 9 2	・一般教養及び生活、文化の学習 ・パソコン操作技術の基礎と応用 ・仲間づくりや生活を豊かにするきっかけづくり ・市民学習の支援
	高齢者 ながいき大学（2地区） 世代間交流（3地区）	高齢者 一般市民	5月～3月 4月～2月	各10 3	・地区老人会のリーダー養成といきがい学習 ・世代間の交流と明るい家庭づくり
家庭教育	家庭教育講座（1地区） いいざか家庭セミナー 家庭教育学級 （ももちゃんクラブ・平野）	一般市民 〃 〃	5月～3月 6月～2月 年間	4 2 13	・幼児をもつ母親の家庭教育のあり方の学習 ・主に思春期の子どもの成長や教育に関する学習 ・親子のふれあい、子どものしつけ、親のあり方などの学習
芸術文化	飯坂総合文化祭&子どもまつり 各地区展覧会（3地区）	一般市民 〃	11月 12月～3月	1 3	・作品展示・学習発表会・子どもまつり・模擬店などの総合文化祭 ・趣味の愛好者による地区展覧会
レク・体育	ジュニアスキー・スノボ教室 飯坂総合スポーツ祭（6種目） 健康麻雀大会	小・中学生 一般市民 一般市民	1月 10月～2月 1月	1 6 1	・スキー・スノボの基礎技術の習得 ・卓球・家庭バレーボール・グラウンドゴルフ ・ソフトバレーボール・ボッチャ・個人種目 ・健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりの場の提供
運住動民	明るい選挙推進運動	一般市民	年間	常時	・明るい選挙推進の学習及び啓発活動
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	飯坂小 平野小 湯野小 大野中 西根中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

(13) 松川学習センター



所在地	〒960-1241 福島市松川町字杉内33 TEL 567-2323 FAX 567-2403		
交通機関	東北本線「松川駅」 徒歩25分 福島交通バス 医大 水原線「松川支所」 徒歩1分		
設置年月日	昭和24年4月1日	建設年月日	平成27年2月27日
面積と構造	(建物)1,960.36㎡ (敷地)9,078.00㎡ (構造)RC2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)6,574人 (女)6,484人 (計)13,058人		世帯数 5,694世帯
地区面積	63.07km ²	学校数	(小)4 (中)1 (高) - (大)2
職員数	館長1名 職員3名 生涯学習指導員1名 技能職員1名 図書職員3名 その他2名 計11名		
委員 指導員数	運営審議会委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

〈地域の概要〉

松川町は福島市の南に位置し、西は吾妻山麓の水原から北に金谷川、そして東は阿武隈川に至る下川崎と東西に長い丘陵で起伏の多い地域である。中央部を南北に通る旧奥州街道の宿場町八丁目宿を中心として、東部及び西部に広がる農村部を背景に発達してきた町であるが、時代と共に変化し、特に金谷川地区は文教地区としての変化をみせ、国立の福島大学、県立医科大学、同附属病院などがあり、福島大学は3学部5学類の教育組織を実現させた。また国・県・市道の整備も進む中、平成18年10月1日から東北自動車道松川パーキングエリアのスマートインターが恒久化され、現在旧四号国道からのアクセス道路が整備されつつある。

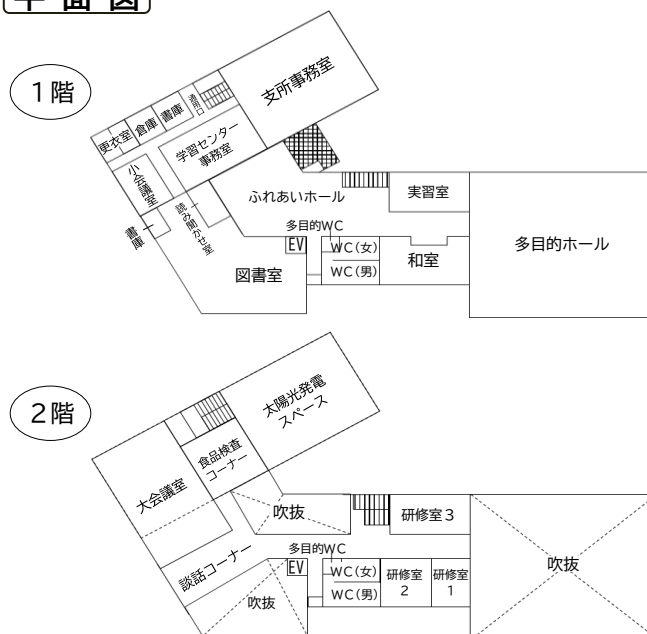
〈施設の案内紹介〉

○学習センター施設概要

1階	和室	68㎡	60人
	実習室	67㎡	30人
	図書室	270㎡	蔵書28,433冊
	多目的ホール	490㎡	200人
	・バレーボール 1面 (ソフトバレーのみ)		
	ミニバスケットボール 1面		
	バドミントン 2面、卓球台 5台		
	・ステージ、放送設備、ピアノ、イス200脚		
2階	研修室1	63㎡	30人
	研修室2	54㎡	24人
	研修室3	67㎡	36人

駐車可能台数 129台

平面図



案内図



〈運営方針〉

- (1) 生涯学習情報の収集及び提供等生涯学習推進体制の充実を図る。
- (2) 地域の人材等を活かした市民協創による生涯学習の推進と学習成果を活かしたボランティア活動の促進に努めるとともに、市民の社会参加を進める学習の支援と充実を推進する。
- (3) 学校、家庭、地域との連動を深め、会社の変化とニーズに対応した学習の推進に努めるとともに、家族や地域の教育力を図る学習の促進と支援体制の充実に努める。
- (4) 芸術文化、スポーツ、レクリエーション活動の拠点としての施設整備充実に努める。

〈特色ある事業〉 家庭教育講座

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	わくわく広場 子どもフェスタ スキースノボ教室	小学4～6年生 小学生 小学4～6年生	年間 7月・12月 2月	10 4 1	・野外活動、体験学習等 ・科学教室、書初め、映画鑑賞 ・スキー、スノーボード
成人教育	教青年 ダンスフィットネス体験教室	青年	年間	1	・ダンスフィットネス
	教女性 レディースまつかわ	成人女性	年間	18	・教養、趣味、健康等
	各種講座等 パソコン講座 市民学校(ウォーキング等) ふるさと学びカレッジ(ゆとり講座) 市民学習プラン支援 花のまちガーデニング教室	一般市民 " 団塊の世代等 一般市民 "	11月 年間 5月～9月 年間 6月～12月	2 5 4 1 2	・文書、デジカメ活用 ・一般教養・文化などの学習 ・ゆとりある時間を楽しむ趣味等の体験学習を学ぶ ・地区団体が主催で実施 ・ガーデニングに対する興味関心を高める
高齢者教育	ことぶき学園	高齢者	年間	10	・高齢者の教養、健康講座等
家庭教育	まつかわ家庭教育学級(すくすく) まつかわ家庭教育講座(ラッコ) 家庭教育出前講座(3講座)	幼児と保護者 幼児と保護者 幼保園児と保護者	年間 " "	10 10 各4～5	・乳幼児の教育について ・ミュージックセラピー ・家庭教育出前講座
芸術・文化	文化祭(共催) 短歌・俳句大会 歴史講座	一般市民 " "	10月 11月 8月～9月	1 1 3	・作品展示と各種イベント ・作品発表等 ・地域の文化財や歴史について学ぶ
体育・レク	囲碁・将棋大会	一般市民	2月	1	・クラスごとのリーグ戦
住民運動	明るい選挙推進啓発事業 市民運動推進 交通安全運動の推進	一般市民 " "	年間 " "	常時 " "	・会議、研修、啓発運動 ・市民憲章、市民ぐるみ運動 ・団体育成・協力・啓発活動
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	松川小 金谷川小 下川崎小 松陵中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート(授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等) ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動(地域課題解決学習、地域貢献活動) ・対象学校長との打合せ(基本方針・要望)と年間のふりかえり(評価・反省)

(14) 信夫学習センター



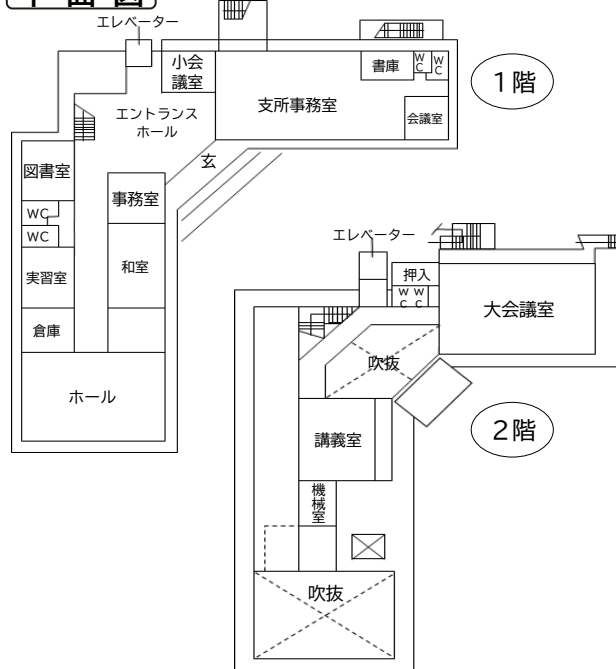
所在地	〒960-1101 福島市大森字馬場1 TEL 546-5207 FAX 546-5216		
交通機関	福島交通バス平田線「大森本町信夫支所入口」徒歩3分		
設置年月日	昭和22年10月1日	建設年月日	平成2年2月10日
面積と構造	(建物)830,28㎡ (敷地)9,860.00㎡ (構造)RC2F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)11,501人 (女)11,752人 (計)23,253人		世帯数 10,109世帯
地区面積	41.20km ²	学 校 数	(小)4 (中)1 (高)1
職 員 数	館長1名 職員3名 生涯学習指導員1名 技能職員1名 その他2名 計8名		
委 員 指導員数	運営審議会委員9名 青少年指導員1名 女性教育指導員1名		

〈地域の概要〉

信夫地区は福島市の中心部から南南西に約5km、平坦地と丘陵地が相半ばする大森、鳥川、平田の3地区からなる歴史と自然環境に恵まれた平和な「しのぶの里」である。中心部の大森は旧奥羽(米沢)街道筋の城下町で、福島市の歴史上欠くことのできない大森城跡があり、城山公園と呼ばれて市民から親しまれ、周辺には史跡、文化財が数多く点在する。東部には南北に東北本線と東北新幹線、中心部を南北に東北自動車道、その東側に国道13号線福島西道路、北部には東西に国道115号線が走り、JR南福島駅や福島西ICがある。かつては静かなたたずまいを見せる農村地域であったが、近年道路交通網の整備等によって商工業の進出や住宅団地の造成が進み、人口・世帯数が急増して大きく様変わりしている。

なお、平成27年7月に平田地区にパークゴルフ場がオープンしている。

平面図



〈地域、施設の案内紹介〉

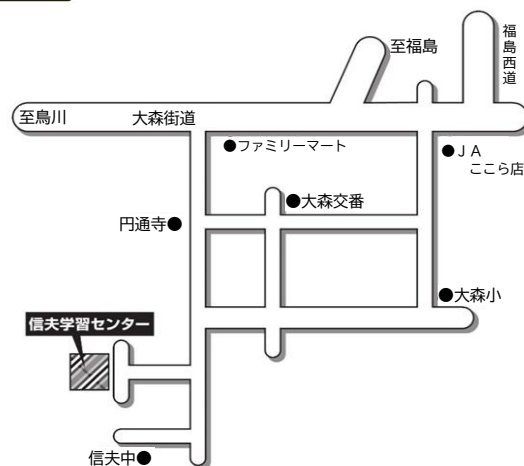
○名所・旧跡

大森城跡、城山観音堂、朝日館跡、
石那坂戦士の碑、陽林寺、陽泉寺、観音寺、
鹿島神社、成川薬師堂、日吉神社、下鳥渡供養塔

○学習センター施設概要

1階	事務室	53.75㎡	
	エントランスホール	129.06㎡	
	和室	88.0㎡	40人
	調理実習室	48.0㎡	25人
	ホール	198.0㎡	100人
	図書室	48.0㎡	蔵書11,112冊
2階	講義室	88.0㎡	40人

案内図



〈運営方針〉

地域の特性を活かし、高度化、多様化する市民の学習要求や学習課題に応え、自己実現を目指す生涯学習の推進を図るため、誰もがいつでも学べる環境づくりと、生涯にわたる主体的な学習活動の支援体制を充実し、次代への新しい「まちづくり」・「人づくり」につなげる。

- (1) 生涯学習の拠点施設として、幅広い地域住民から親しまれ、利用しやすい施設としての管理運営に努めるとともに、住民のニーズにそった学習の機会と場の提供を図る。
- (2) 生涯学習の拡充・推進と家庭・地域の教育力を強化するため、地域の関係機関や団体等との連携を図るとともに、生涯にわたる主体的な学習活動を支援するため情報の提供と相談事業の充実に努める。

- (3) 地区内の歴史的資産を十分に活用し、地域の特性を活かした事業を推進するとともに、地区内の歴史的風土等の保全活動に努める。

- (4) ライフステージに応じた社会教育事業及び世代間交流事業を推進することにより、学習センターにおいて学習した結果を活かして、明るく住みよい地域づくりに役立つ人材育成を推進する。

- (5) 次代につながる新しい「まちづくり」「人づくり」を推進するため、市民との共創により各種事業の展開を図り新たな地域の魅力を再発見するとともに、連帯意識及びボランティア意識の高揚に努める。

- (6) 子どもたちの心と体の健康に留意しながら、子どもの夢を育む事業と読書活動の推進を図る。

〈特色ある事業〉しのぶジュニア茶道教室、信夫ジュニア将棋教室

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	わくわくクラブ しのぶジュニア茶道 信夫ジュニア将棋教室 親子教室	小学3～小学6年生 小・中学生 小学2～小学6年生 小学生と保護者	6月～2月 6月～3月 6月～3月 6月～3月	8～9 9 8 8	・自然体験、もの作り体験など ・茶道を通し礼法について学ぶ ・実践指導 ・親と子の体験学習（料理・体操・もの作りなど）
青年教育	青年講座	青年	年間	2	・教養講座等
成人教育	女性学級（2学級） 女性リーダー研修会 女性のつどい	成人女性 〃 〃	年間 6月 2月	25 1 1	・女性の資質の向上と地域課題の学習など ・団体のリーダー養成と団体の連動（研修視察など） ・女性の連動と地域課題解決のための学習（講演会など）
成人教育	ふるさと学びカレッジ ～実年の広場～ 市民講座 育成会支援事業 スマホ講座（2学級） 市民学習プラン支援事業	50～69歳 一般市民 〃 〃 〃	5月～3月 年間 〃 7月～3月 〃	10 20 2 10 随時	・一般教養、健康、家庭生活など ・教養・生活・文化の学習 ・育成会関連講座 ・スマートフォン操作の学習 ・地域団体等の企画による公共性の高い事業の実施を支援する
成人教育	折り紙・大人の塗り絵	一般市民	5月～3月	30	・芸術的感性や集中力を育成する
高齢者教育	寿大学	高齢者	5月～12月	8	・健康講座、音楽講座、歴史講座など
家庭教育	すくすくセミナー	2～4歳の幼児と保護者	5月～2月	10	・絵本の読み聞かせ、親子体操など ・親子のふれあいを深めながら家庭教育の在り方を学習する
文化・芸術	短歌大会 文化祭 文化財めぐり	一般市民 〃 一般市民	12月 10月 4月・10月	1 1 2	・作品発表、鑑賞、講話、選評 ・総合作品展示、模擬店、子どもの遊びの広場 ・史跡・旧跡をめぐる
体育・レク	地区民大運動会 囲碁・将棋大会	一般市民 一般市民・小学生	10月 1月	1 1	・団体戦、個人戦 ・クラス別対抗戦
運動・住民	明るい選挙推進事業	一般市民	年間	随時	・啓発運動、会議、研修
地域学校協働	地域学校協働本部事業 ・学校支援活動 ・地域学校協働活動	鳥川小 大森小 平田小 信夫中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

〈地域の概要〉

磐梯吾妻スカイラインの玄関口としても知られ、高湯街道やフルーツラインには、もも、ナシ、リンゴなどの観光果樹園が軒を並べています。また、福島市のナシの生産の基礎を築いた「萱場梨」や、日本三大「五葉松」のひとつに数えられる「吾妻五葉松」の歴史ある産地です。

○指定文化財
国指定天然記念物…吾妻山ヤエハクサン
シラクナゲ自生地
市指定天然記念物…上野寺の大ハリギリ
土船の忍びの松
清水観音の大モミ

・バレーボール 1面
ミニバスケット 1面
バドミントン 2面
卓球台 4台
ステージ 舞台照明設備 放送設備
暗幕設備 ピアノ イス370脚
視聴覚室 (59㎡) 収容人員37人
液晶プロジェクター VTR OHC
16mm映写設備
ピアノ マイク設備
研修室 1 (62㎡) 収容人員40人
研修室 2 (76㎡) 収容人員50人
和室 1 (22㎡) 収容人員20人
12畳間 茶道用電熱器
和室 2 (32㎡) 収容人員30人
18畳間
実習室 (39㎡) 収容人員20人
調理台 3台 電子オーブンレンジ
工芸室 (57㎡) 収容人員25人
工芸台 5台 七宝焼窯
図書室 (493㎡)
・蔵書52,531冊
AV (ビデオ・CD等) コーナー
こどものへや やすらぎの間
その他
・エントランスホール 展望ロビー
展示ホール 情報コーナー
駐車可能台数 116台

奥羽本線

福島西駅

福島西道路

野田中学校

テレビユー福島

高湯街道

GS

須川

西六橋

至福島駅西口

至高湯

吾妻学習センター
吾妻支所

吾妻支所バス停

表北橋

福島ヨタクラウンアリーナ
(国体記念体育館)

1階

和室2 和室1 書斎室 空調機械室 視聴覚室 展示ロビー 工芸室 控室 ステージ 執室

身障者用WC 湯沸室 光庭 多目的ホール 図書室 図やすらぎの間 WC 身障者用WC エレベーター エントランスホール 小会議室 作業室 学習センター 事務室 風除室 玄関 空 調 機械室 WC 支 所

2階

吹抜 エレベーター WC 倉庫 大会議室 湯沸室 (研修室1) (研修室2)

(15)-Ⅱ 吾妻学習センター分館



〈施設の案内紹介〉

○学習センター分館施設概要

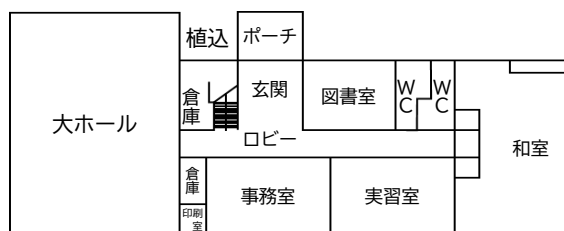
1階	和室	115.6㎡	80人
	実習室	52.3㎡	30人
	図書室	35.0㎡	蔵書 10,471冊
	大ホール	200.0㎡	120人
2階	研修室	52.3㎡	30人
	講義室	88.6㎡	60人

駐車可能台数 65台

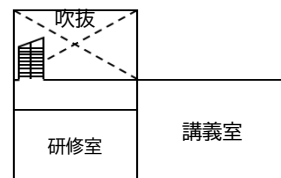
所在地	〒960-8076 福島市上野寺字下平場35-1 TEL 591-4571 着信591-4560 FAX 591-4597		
交通機関	福島交通バス 上姥堂線「吾妻学習センター分館前」 徒歩1分		
設置年月日	昭和31年9月30日	建設年月日	昭和54年4月1日
面積と構造	(建物)766.47㎡ (敷地)6,009.43㎡ (構造)RC2F		
職員数	生涯学習指導員 1名 その他 2名 計 3名		

平面図

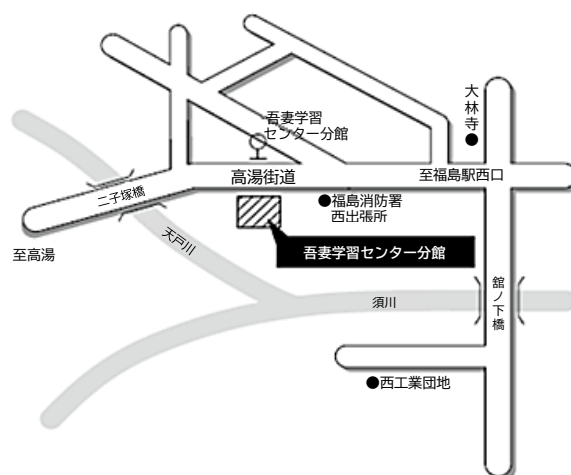
1階



2階



案内図



〈運営方針〉

- (1) 充実した生涯学習社会の構築を目指し、学習機会の拡充と学習環境整備に努める。
- (2) 地域文化復興意識の高揚を図り、地域に根ざした生涯学習活動の推進に努める。
- (3) 住民参加型の「協創と交流」を通じて地域づくりへの支援に努める。
- (4) 各種団体・サークル等の育成を図るとともに、団体相互の連携・交流の支援に努める。
- (5) ボランティアの意識醸成と活用を図るとともに、学習成果の地域還元に努める。

〈特色ある事業〉 高齢者教育（5学級）

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
教 少 育 年	スノーラビット	小学4～6年生	5月～3月	11	・体育レク、集団行動、奉仕活動
	あづまっ子書道会	小学3～6年生	5月～3月	24	・書道を通じて集中力や礼儀作法の育成
成 人 教 育	1UPカレッジ（三河台、吉井田、西、吾妻 4館合同事業）	青 年	6月～2月	8	・一般教養
	女性学級（2学級） レディースジャンプ	成 人 女 性 〃	4月～3月 11月	23 1	・一般教養、健康、趣味、交歓等 ・2女性学級の合同学習・三河台、西学習センターとの合同開催
	常設市民学校 満月会	一般市民	5月～3月	2	・一般教養、趣味、実技など全般
	市民公開講座	〃	〃	19	・一般教養、生活、歴史等の学習
	ふるさと学びカレッジ 市民学習プラン支援事業 ICT活用講座	〃 〃 〃 〃	〃 〃 〃 〃	2 1 1 1	・趣味・教養等の講座 ・生涯学習推進員と連携し、自主学習を支援する ・高度情報化社会に対応できる成人の育成
高 齢 者 教 育	野田明大学級 庭坂寿大学 庭塚大学 水保長寿大学 熟年パワースクール 高齢者元気アップ事業	高 齢 者 〃 〃 〃 〃 〃	4月～3月 5月～3月	63 1	・一般教養、生活文化等の学習 ・地区内高齢者団体のリーダー養成 ・ICTの基礎学習
教 家 育 庭	いちごクラブ	1～4歳児と保護者	5月～3月	11	・家庭におけるしつけや教育についての学習
芸 術 ・ 文 化	文化祭	地 区 住 民	10月	1	・作品展示・活動発表会
	活動発表会	〃	〃	1	・学習成果発表
体 育 ・ レ ク	ミニゴルフ大会	地 区 住 民	5月	1	・ミニゴルフ大会（地区対抗）
	吾妻地区球技大会	〃	11月	1	・ソフトボール、家庭バレーボール
	囲碁大会	〃	1月	1	・ランク別個人戦
	吾妻地区カローリング大会	〃	1月	1	・地区対抗戦
	夏休みニュースポーツ体験	小学4～6年生	8月	1	・ニュースポーツ体験、世代間交流
住 民 運 動	市民憲章運動の推進	地 区 住 民	4月～3月	常時	・常時啓発と推進
	明るい選挙啓発推進運動	〃	〃	〃	・ 〃
地 域 学 校 協 働	地域学校協働本部事業 ・ 学校支援活動 ・ 地域学校協働活動	野 田 小 庭 塚 小 庭 塚 小 水 保 小 野 妻 中	年 間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等） ・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動） ・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）

(16) 飯野学習センター



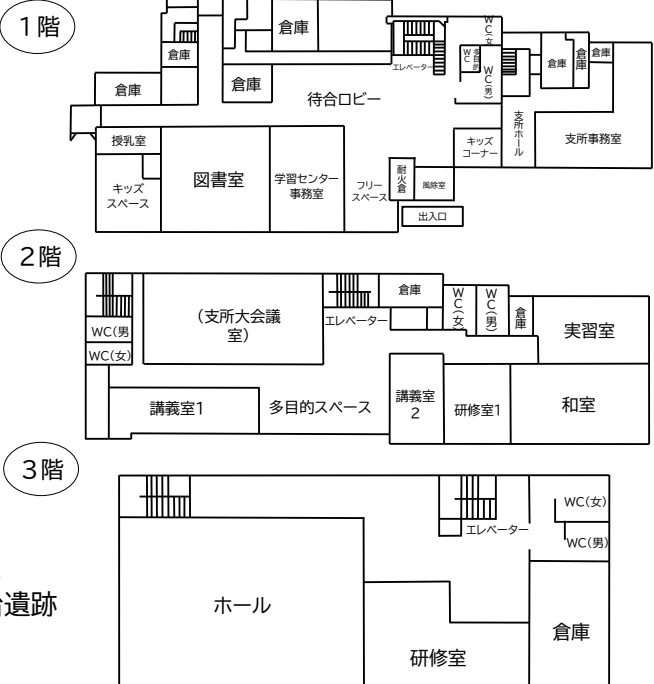
所在地	〒960-1301 福島市飯野町字後川10-2 TEL 562-3335 FAX 562-3686		
交通機関	福島交通バス「福島～飯野線」 医大立子山経由「飯野町」下車 徒歩1分		
設置年月日	昭和30年5月1日	建設年月日	令和5年3月31日
面積と構造	(建物)2,054.00㎡ (敷地)6,443.20㎡ (構造)RC3F		
人口 (R6.4.1現在)	(男)2,401人 (女)2,462人 (計)4,863人	世帯数 1,958世帯	
地区面積	21.31km ²	学 校 数	(小)1 (中)1 (高)－
職 員 数	館長 1名 職員 2名 生涯学習指導員 1名 技能職員 2名 その他 1名 計 7名		
委 員 指導員数	運営審議会委員 9名 青少年指導員 1名 女性教育指導員 1名		

〈地域の概要〉

飯野地区は福島市の南東部に位置し、飯野、大久保、青木、明治の4地区からなり、地区の中心部を県道福島飯野線・川俣安達線が横断し南北には飯野三春石川線が縦断している。地区の北部を国道114号線が走っている。文化財として、東北地方南部では最大級の縄文集落跡の和台遺跡は、国指定となっている。

また、同じ縄文時代の白山遺跡では日本で始めて命名された複式炉がある。以前からUF0の里として地区のシンボルである千貫森や堰堤公園は景勝地として人々に親しまれ、緑豊かな自然と文化の調和がとれた地域である。そして近年は、11月に国内最大のUF0と宇宙人イベントであるUF0フェスティバルで市内外から多くの方が訪れて賑わっている。

平面図



〈地域、施設の案内紹介〉

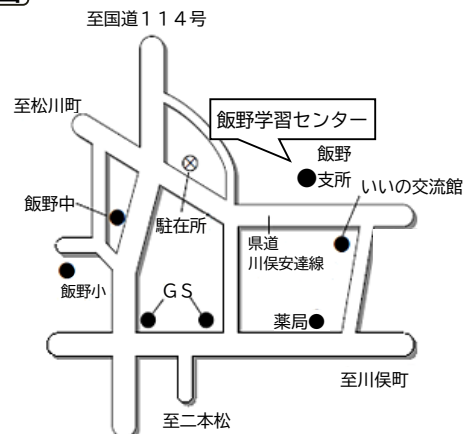
○名所・旧跡 千貫森公園（UF0ふれあい館）、堰堤公園、花やしき公園、和台遺跡

○学習センター施設概要

1階	図 書 室	111.6㎡	蔵書 12,000冊
2階	講 義 室 1	71.4㎡	29名
	講 義 室 2	45.0㎡	13名
	研 修 室 1	55.2㎡	16名
	和 室	89.3㎡	50名
	実 習 室	59.1㎡	18名
3階	ホ ー ル	212.5㎡	150名
	研 修 室 2	69.6㎡	41名

駐車可能台数 80台（支所と併用）

案内図



〔分 館〕

飯野学習センター青木分館 飯野町青木字向広表50
 // 大久保分館 飯野町大久保字岩見内17
 // 明治分館 飯野町明治字北小戸明利30

〈運営方針〉

- 人生100年時代を見据え、ライフステージに応じた生涯学習の提供に努める。
- (1) 社会の変化と多様なニーズに応える学級・講座の開催及び地域に根ざした生涯学習の推進。
 - (2) 地域の人材等を活かした市民協創による活動の推進及び地域性に合わせた学習の充実。
 - (3) 生涯学習活動団体の支援及び各種生涯学習情報の提供・相談。
 - (4) 文化・スポーツに関する学習機会の提供及び地域社会教育関係団体との連携・支援。
 - (5) 地域の生涯学習施設として利用しやすい環境の整備。
 - (6) 地域全体で学校教育を支援する体制の推進。

〈特色ある事業〉 年中行事（ちまき作り、月見だんご作り、だんごさし）、チャック&パッタ教室

〈主な事業〉

領域	事業名	対象	時期	回数	事業内容
少年教育	いいのこどもクラブ サマースクール	小学3～6年生 小学生	5月～3月 7月～8月	10 3	・スポーツや様々な体験学習を通して、協調性・社会性を育む ・夏休み期間中、夏休みの宿題や自由勉強を自主的に学習する場所を提供する
成人教育	青年教育事業	18～35歳の男女	5月～3月	随時	・青年の交流、仲間づくり
	教女育性	成人女性	5月～3月	11	・女性の資質を高める学習及び地域づくり
	各種講座等	いいの日曜塾	5月～1月	7	・平日学習できない人を対象とした教養・文化等の学習
		市民講座（2コース）	5月～3月	3	・話題性やニーズのあるテーマごとに数回継続した講座の実施
		I C T活用推進事業	5月～3月	2	・I C T機器を活用した学習
		ふるさと学びカレッジ	5月～3月	3	・団塊世代を対象とした仲間づくりを支援する
		市民学習プラン支援事業	4月～3月	1	・地区団体が主催する事業の実施を支援する
教者高年齢	健康講座	一般市民	5月～3月	5	・健康をテーマにした講座の実施
	ナイスいいの学級	65歳以上の高齢者	5月～3月	8	・高齢者のための生涯学習と生きがいづくり
家庭教育	ユータンキッズ	未就学児と保護者	5月～12月	6	・未就学児を持つ親を対象とした家庭教育
	子育てマルシェ	小学生までの子と保護者	5月～2月	4	・子育て中のすべての保護者を対象とした家庭教育
芸術・文化	文化祭	一般市民	10月～11月	2	・利用団体及び地域住民の文化活動の成果発表、地域文化の向上、地域住民の交流を図る
	芸能祭	一般市民	11月	1	・地区に伝わる年中行事の伝承
	年中行事	一般市民	6月～1月	3	・地区に伝わる年中行事の伝承
体育・レク	登山教室	一般市民	5月～3月	3	・福島県内登山
	スケート教室	小学生	2月	1	・スケートの基礎習得
	チャック&パッタ教室	小学生～成人	1月	1	・世代間・地域間の交流、昔遊び
運住動民	明るい選挙啓発推進運動	一般市民	4月～3月	随時	・会議、啓発活動
地域学校協働	地域学校協働本部事業	飯野小 飯野中	年間	随時	・学校の要望に沿った地域内ボランティアの発掘とコーディネート（授業の補助・校舎内外の環境整備・登下校中の安全確保・学校行事運営の支援等）
	・学校支援活動				・学校がより幅広い層の地域住民や団体とのネットワークを形成し、双方向で関わり合う活動（地域課題解決学習、地域貢献活動）
	・地域学校協働活動				・対象学校長との打合せ（基本方針・要望）と年間のふりかえり（評価・反省）